



概要

この章は次のトピックで構成されています。

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [外部機能 \(6 ページ\)](#)
- [サーバ機能の概要 \(37 ページ\)](#)
- [サービス可能なコンポーネントの場所 \(46 ページ\)](#)

概要

Cisco UCS C240 M6 は、スタンドアロン環境としても、Cisco Unified Computing System (Cisco UCS) の一部としても動作可能な、スタンドアロン 2U ラック サーバー シャーシです。

Cisco UCS C240 M6 サーバは、1 基または 2 基の CPU 構成で最大 2 基の第 3 世代 Intel® Xeon® スケーラブルプロセッサをサポートします。

サーバは以下をサポートします。

- CPU あたり 16 個の DIMM スロット。3200 MHz DDR4 DIMM 用で、容量は最大 128 GB DIMM。
- 次のいずれかを装着したデュアル CPU 構成では、その構成に応じて、最大 8 TB または 12 TB のメモリをサポート。
 - 32 本の 128 GB DDR DIMM。または 16 本の 128 GB DDR4 DIMM と 16 本の 512 GB Intel® Optane™ 永続メモリモジュール (DCPMM) の DIMM メモリ構成。
- サーバは、大型フォームファクタ (LFF) と小型フォームファクタ (SFF) フロントローディングドライブのどちらで構成されているかによって、サポートするドライブ構成が変わりませす。
- C240 M6 12 LFF は、最大で 4 台の LFF HDD による、ミッドプレーンマウントストレージをサポート。
- サーバブート用に最大 2 枚の M.2 SATA RAID カード。
- リアストレージライザー (各 2 スロット)

- リア PCIe ライザー X 1 (3 スロット)
- 書き込みキャッシュ バックアップ用の SuperCap または SAS HBA 用の 12 G SAS RAID コントローラ用の内部スロット。
- シリーズ 14xx/15xxx Cisco 仮想インターフェイス カード (VIC) を取り付け可能な専用の LAN over motherboard カード (mLOM) 、またはサードパーティ製 NIC を介したネットワーク接続。これらのオプションは、サーバ マザーボードに組み込まれた Intel x550 10Gbase-T mLOM ポートに追加されます。
- 1 つの mLOM/VIC カードが 10/25/40/50/100 Gbps を提供します。次の mLOM がサポートされています。
 - Cisco UCS VIC 15238 デュアル ポート 40/100G QSFP28 mLOM (UCSC-M-V5D200G) は以下をサポートします。
 - ラック サーバへの x16 PCIe Gen4 ホスト インターフェイス
 - 2 個の 40G/100G QSFP28 ポート
 - 4GB DDR4 メモリ、3200 MHz
 - 最適な換気のための一体型ブロワー
 - Cisco UCS VIC 15428 クワッドポート CNA MLOM (UCSC-M-V5Q50G) は以下をサポートします。
 - ラック サーバへの x16 PCIe Gen4 ホスト インターフェイス
 - 4 つの 10G/25G/50G SFP56 ポート
 - 4GB DDR4 メモリ、3200 MHz
 - 最適な換気のための一体型ブロワー
 - Cisco UCS VIC 1467 クアッドポート 10/25G SFP28 mLOM (UCSC-M-V25-04)
 - ラック サーバへの x16 PCIe Gen3 ホスト インターフェイス
 - 4 つの 10G/25G QSFP28 ポート
 - 2GB DDR3 メモリ、1866 MHz
 - Cisco UCS VIC 1477 デュアルポート 40/100G QSFP28 (UCSC-M-V100-04)
 - ラック サーバへの x16 PCIe Gen3 ホスト インターフェイス
 - 2 個の 40G/100G QSFP28 ポート
 - 2GB DDR3 メモリ、1866 MHz

これらのオプションは、サーバマザーボードに組み込まれた Intel x550 10Gbase-T mLOM ポートに追加されます。

- 一部のサードパーティ VIC に加えて、次の仮想インターフェイスカード (VIC) がサポートされています。
 - Cisco UCS VIC 15425 クアッドポート 10G/25G/50G SFP56 CNA PCIe (UCSC-P-V5Q50G)
 - ラックサーバへの x16 PCIe Gen4 ホストインターフェイス
 - 4 つの 10G/25G/50G SFP+/SFP28/SFP56 ポート
 - 4GB DDR4 メモリ、3200 MHz
 - 最適な換気のための一体型ブロワー
 - セキュアブートのサポート
 - Cisco UCS VIC 15235 デュアルポート 40G/100G/200G QSFP56 CNA PCIe (UCSC-P-V5D200G)
 - ラックサーバへの x16 PCIe Gen4 ホストインターフェイス
 - 2 つの 40G/100G/200G QSFP/QSFP28/QSFP56 ポート
 - 4GB DDR4 メモリ、3200 MHz
 - 最適な換気のための一体型ブロワー
 - セキュアブートのサポート
 - Cisco UCS VIC 1455 クアッドポート 10/25G SFP28 PCIe (UCSC-PCIE-C25Q-04=)
 - Cisco UCS VIC 1495 デュアルポート 40/100G QSFP28 CNA PCIe (UCSC-PCIE-C100-042))
- N + 1 電源構成をサポートする 2 つの電源 (PSU) 。
- ホットスワップ可能な 6 基のモジュール型ファン。

サーバ構成、LFF

サーバは、LFF ドライブ用に次の構成で注文できます。

- Cisco UCS C240 M6 LFF 12 (UCSC-C240-M6L) : 大型フォームファクタ (LFF) ドライブ、12 ドライブ バックプレーン。
 - フロントローディング ドライブ ベイ 1~12 で 3.5 インチ SAS/SATA ドライブをサポート。
 - ミッドプレーン ドライブ ケージ で 4 台の ドライブ をサポート (3.5 インチ SAS 専用) 。

- オプションで、リアローディング ドライブベイは 2 台または 4 台の SAS/SATA または NVMe ドライブをサポート。

サーバ構成、SFF 12 SAS/SATA

SFF 12 SAS/SATA 構成 (UCSC-C240-M6-S) は、12 台の SFF ドライブとオプションのオプションのオプションドライブで構成できます。また、SFF 構成は、I/O セントリック構成またはストレージセントリック構成のいずれかとして注文できます。このサーバは以下をサポートします。

- ドライブ 12 台用のバックプレーンで、最大 12 台の小型フォーム ファクタ (SFF) ドライブをサポート。
 - フロントローディング ドライブ ベイ 1~12 で最大 12 台の 2.5 インチ SAS/SATA ドライブをサポート。
 - オプションで、フロントローディング ドライブ ベイ 1~4 で 2.5 インチ NVMe SSD をサポート。この構成では、最大 4 台までの任意の数の NVMe ドライブを取り付けられます。



(注) NVMe ドライブは、デュアル CPU サーバでのみサポートされません。

- サーバは、SATA インターポーザカードを装備するように構成できます。サーバで SATA インターポーザカードを使用する場合は、最大 8 台の SATA 専用ドライブを構成できます。これらのドライブは、スロット 1~8 にのみ取り付けることができます。
- ドライブベイ 5~12 は、SAS/SATA SSD または HDD のみをサポートします。NVMe はサポートしません。
- オプションで、リアローディング ドライブ ベイは 4 台の 2.5 インチ SAS /SATA または NVMe ドライブをサポート。

サーバ構成、24 SFF SAS/SATA

SFF 24 SAS/SATA 構成 (UCSC-C240-M6SX) は、I/O セントリック構成またはストレージセントリック構成のいずれかとして注文できます。このサーバは以下をサポートします。

- ドライブ 24 台用のバックプレーンで、最大 24 台の小型フォーム ファクタ (SFF) ドライブをサポート。
 - フロントローディング ドライブ ベイ 1~24 で、2.5 インチの SAS/SATA SSD または HDD をサポート。
 - オプションで、フロントローディング ドライブ ベイ 1~4 で 2.5 インチ NVMe SSD をサポート。この構成では、最大 4 台までの任意の数の NVMe ドライブを取り付けられます。



(注) NVMe ドライブは、デュアル CPU サーバでのみサポートされません。

- ドライブベイ 5～24 は、SAS/SATA SSD または HDD のみをサポートします。NVMe はサポートしません。
- オプションで、リアローディング ドライブ ベイは 4 台の 2.5 インチ SAS /SATA または NVMe ドライブをサポート。
- オプションとして、このサーバは「GPU 対応」の構成で注文できます。このオプションでは、サーバの最初の注文時に GPU が購入されていない場合でも、後日 GPU を追加できます。



(注) シスコのオンライン注文および構成ツールを使用して GPU 対応構成を注文するには、GPU エアダクト PID を選択して GPU 対応の構成を有効にする必要があります。ツールに表示される追加のルールに従います。詳細については、[GPU カードの構成規則](#) を参照してください。

サーバ構成、12 NVMe

SFF 12 NVMe 構成 (UCSC-C240-M6N) は、NVMe 専用サーバとして発注できます。NVMe 最適化サーバには 2 基の CPU が必要です。このサーバは以下をサポートします。

- NVMe に最適化されたドライブ 12 台用のバックプレーンで、最大 12 台の SFF NVMe ドライブを SSD としてサポート。
 - フロントローディング ドライブ ベイ 1～12 で 2.5 インチの NVMe PCIe SSD のみをサポート。
 - 2 つのリアロード ドライブ ベイは 2 台の 2.5 インチ NVMe SSD のみをサポート。これらのドライブベイは、背面パネルの左側にある上部と中央のスロットです。

サーバ構成、24 NVMe

SFF 24 NVMe 構成 (UCSC-C240-M6SN) は、NVMe 専用サーバとして発注できます。NVMe 最適化サーバには 2 基の CPU が必要です。このサーバは以下をサポートします。

- NVMe に最適化された 24 ドライブバックプレーンにより、SSD として最大 24 台の SFF NVMe ドライブをサポート。
 - フロントローディング ドライブ ベイ 1～24 で 2.5 インチ NVMe PCIe SSD のみをサポート。

- 2つのリアロードドライブベイは2台の2.5インチ NVMe SSDのみをサポート。これらのドライブベイは、背面パネルの左側にある上部と中央のスロットです。
- オプションとして、このサーバは「GPU対応」の構成で注文できます。このオプションでは、サーバの最初の注文時に GPU が購入されていない場合でも、後日 GPU を追加できます。



(注) シスコのオンライン注文および構成ツールを使用して GPU 対応構成を注文するには、GPU エアダクト PID を選択して GPU 対応の構成を有効にする必要があります。ツールに表示される追加のルールに従います。詳細については、[GPU カードの構成規則](#)を参照してください。

外部機能

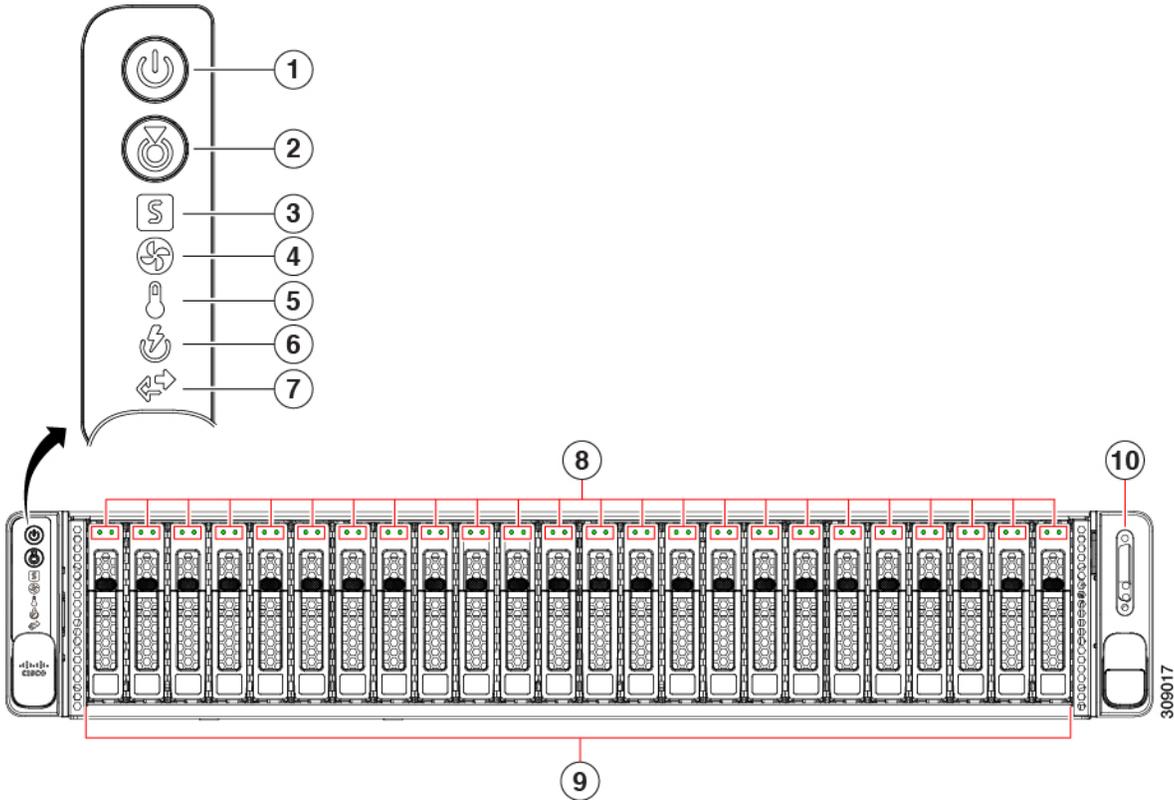
このトピックでは、様々な構成のサーバの外部機能について説明します。LED の状態の定義については、[前面パネルの LED](#)を参照してください。

Cisco UCS C240 M6 サーバ 24 SAS/SATA の前面パネルの機能

次の図に、小型フォームファクタ (SFF)、24 SAS/SATA ドライブバージョンのサーバである Cisco UCS C240 M6SX の前面パネル機能を示します。フロントローディングドライブは、最大4台の SFF NVMe または SFF SAS/SATA ドライブをサポートするために、スロット 1-4 で組み合わせることができます。任意の数の NVMe ドライブを搭載した UCS C240 M6 サーバは、デュアル CPU システムである必要があります。

この構成では、背面の PCIe スロットで最大4台のオプションの SAS/SATA ドライブをサポートできます。

図 1: Cisco UCS C240 M6 サーバ 24 SAS/SATA 前面パネル



1	電源ボタン/電源ステータス LED	2	ユニット識別 LED
3	システム ステータス LED	4	ファン ステータス LED
5	温度ステータス LED	6	電源装置ステータス LED
7	ネットワーク リンク アクティビティ LED	8	ドライブステータス LED
9	NVMe ドライブ ベイ、フロントロード ドライブ ベイ 1~24 は、フロントローディング SFF SAS/SATA ドライブをサポートします。 ドライブ ベイ 1~4 は SAS/SATA ハードドライブ、ソリッドステートドライブ (SSD) または NVMe PCIe ドライブをサポートします。最大4台の NVMe ドライブをこれらのスロットに装着できます。 ドライブ ベイ 5~24 は SAS/SATA ハードドライブおよびソリッドステートドライブ (SSD) のみをサポートします。 ドライブ ベイには 1~24 の番号が付けられ、ベイ 1 が左端のベイになります。	10	KVM コネクタ (DB-15 VGA X 1、DB-9 シリアル X 1、USB 2.0 X 2 コネクタ接続用の KVM ケーブルで使用)

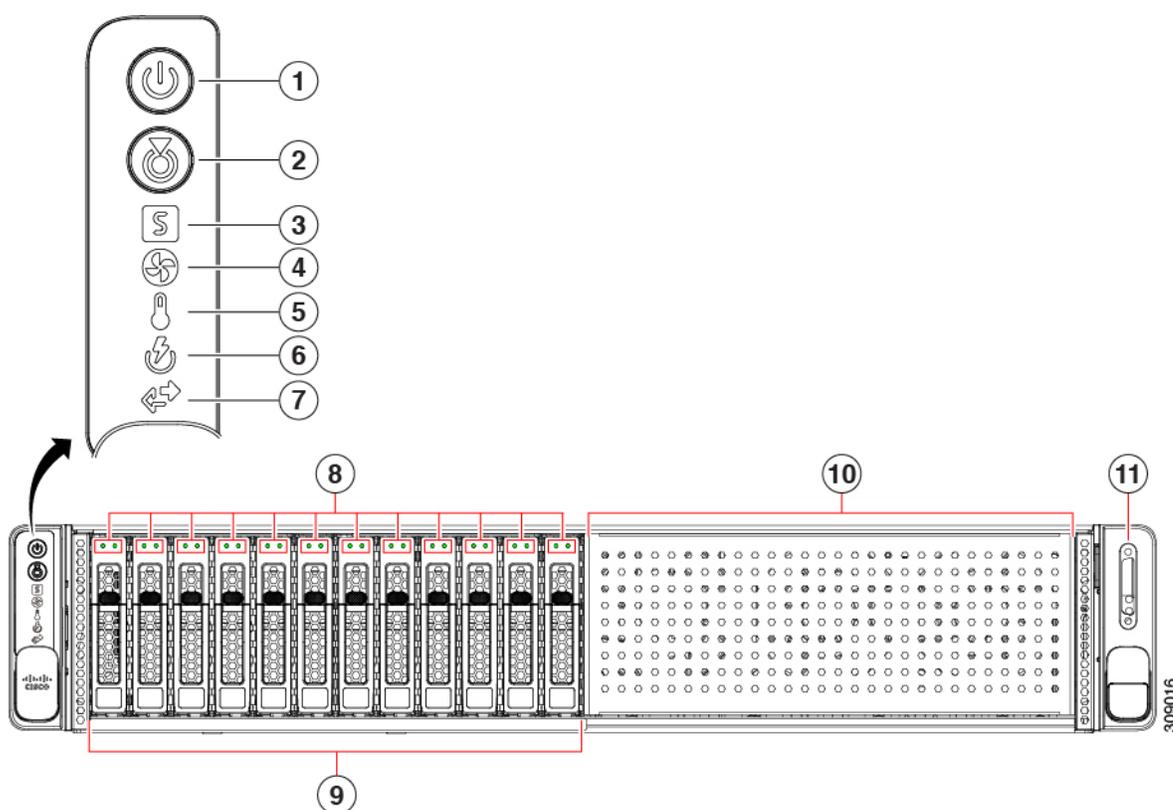
Cisco UCS C240 M6 サーバ 12 SAS/SATA ドライブの前面パネルの機能

次の図に、小型フォームファクタ（SFF）、12 SAS/SATA ドライブバージョンのサーバである Cisco UCS C240 M6S の前面パネルの機能を示します。フロントローディングドライブは、最大 4 台の SFF NVMe または SFF SAS/SATA ドライブをサポートするために、スロット 1~4 で組み合わせることができます。任意の数の NVMe ドライブを搭載した UCS C240 M6 サーバは、デュアル CPU システムである必要があります。

この構成では、背面の PCIe スロットで最大 4 つのオプションの SAS/SATA または NVMe ドライブをサポートできます。

LED の状態の定義については、[前面パネルの LED](#) を参照してください。

図 2: Cisco UCS C240 M6 サーバ（SFF SAS/SATA、12 ドライブ）の前面パネル



1	電源ボタン/電源ステータス LED	2	ユニット識別 LED
3	システム ステータス LED	4	ファン ステータス LED
5	温度ステータス LED	6	電源装置ステータス LED
7	ネットワーク リンク アクティビティ LED	8	ドライブステータス LED

9	<p>ドライブ ベイの前面ローディング</p> <p>ドライブ ベイ 1～12 は、フロントローディング SFF SAS/SATA ドライブをサポートします。</p> <p>ドライブ ベイ 1～4 は SAS/SATA ハード ドライブ、ソリッドステート ドライブ (SSD) のみならず NVMe PCIe ドライブもサポートします。最大 4 台の NVMe ドライブをこれらのスロットに装着できます。</p> <p>ドライブ ベイ 5～12 は SAS/SATA ハード ドライブおよびソリッドステート ドライブ (SSD) のみをサポートします。</p> <p>ドライブ ベイには 1～24 の番号が付けられ、ベイ 1 が左端のベイになります。</p> <p>(注) サーバに SATA インターポーザカードがある場合は、スロット 1～8 で最大 8 台の SATA ドライブがサポートされます。</p>	10	<p>ドライブ ベイ 13～24 は板金でブロックされています。</p>
11	<p>KVM コネクタ (DB-15 VGA X 1、DB-9 シリアル X 1、USB 2.0 X 2 コネクタ接続用の KVM ケーブルで使用)</p>	-	

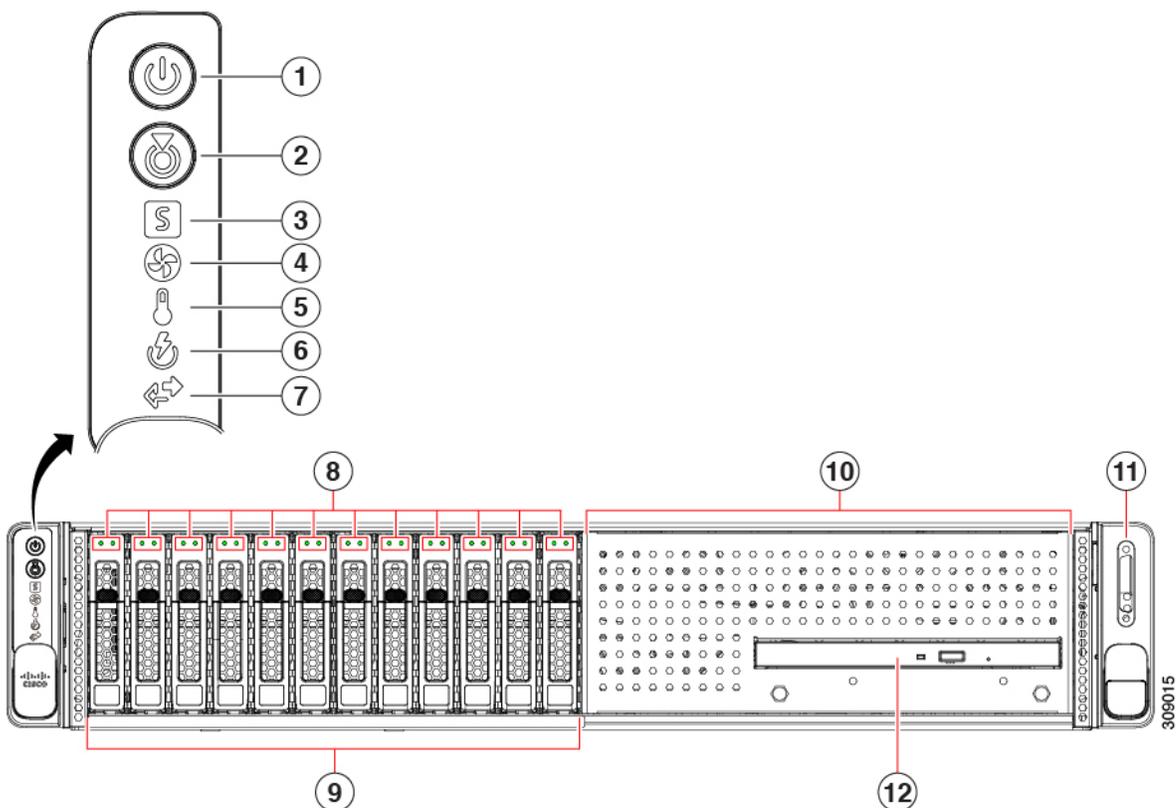
Cisco UCS C240 M6 サーバ 12 SAS/SATA ドライブ (プラス オプティカル) 前面パネルの機能

次の図に、小型フォーム ファクタ (SFF)、12 ドライブ ドライブ バージョンのサーバである Cisco UCS C240 M6S の前面パネルの機能を示します。フロントローディング ドライブは、最大 4 台の SFF NVMe または SFF SAS/SATA ドライブをサポートするために、スロット 1～4 で組み合わせることができます。任意の数の NVMe ドライブを搭載した UCS C240 M6 サーバは、デュアル CPU システムである必要があります。

この構成では、背面の PCIe スロットで最大 4 台のオプションの SAS/SATA ドライブをサポートできます。

LED の状態の定義については、[前面パネルの LED](#)を参照してください。

図 3: Cisco UCS C240 M6 サーバ 12 SAS/SATA Plus オプティカル ドライブ、前面パネルの機能



1	電源ボタン/電源ステータス LED	2	ユニット識別 LED
3	システム ステータス LED	4	ファン ステータス LED
5	温度ステータス LED	6	電源装置ステータス LED
7	ネットワーク リンク アクティビティ LED	8	ドライブステータス LED
9	ドライブ ステータス LED ドライブ ベイ 1~12 は、フロントローディング SFF ドライブをサポートします。 ドライブ ベイ 1~4 は SAS/SATA ハード ドライブ、ソリッドステート ドライブ (SSD) のみならず NVMe PCIe ドライブもサポートします。最大 4 台の NVMe ドライブをこれらのスロットに装着できます。 (注) サーバに SATA インターポーザカードがある場合は、スロット 1~8 で最大 8 台の SATA ドライブがサポートされます。	10	ドライブ ベイ 13~24 は板金でブロックされています。

11	KVM コネクタ (DB-15 VGA X 1、DB-9 シリアル X 1、USB 2.0 X 2 コネクタ接続用の KVM ケーブルで使用)	12	オプションのオプティカル DVD ドライブは水平に取り付けられます。
----	---	----	------------------------------------

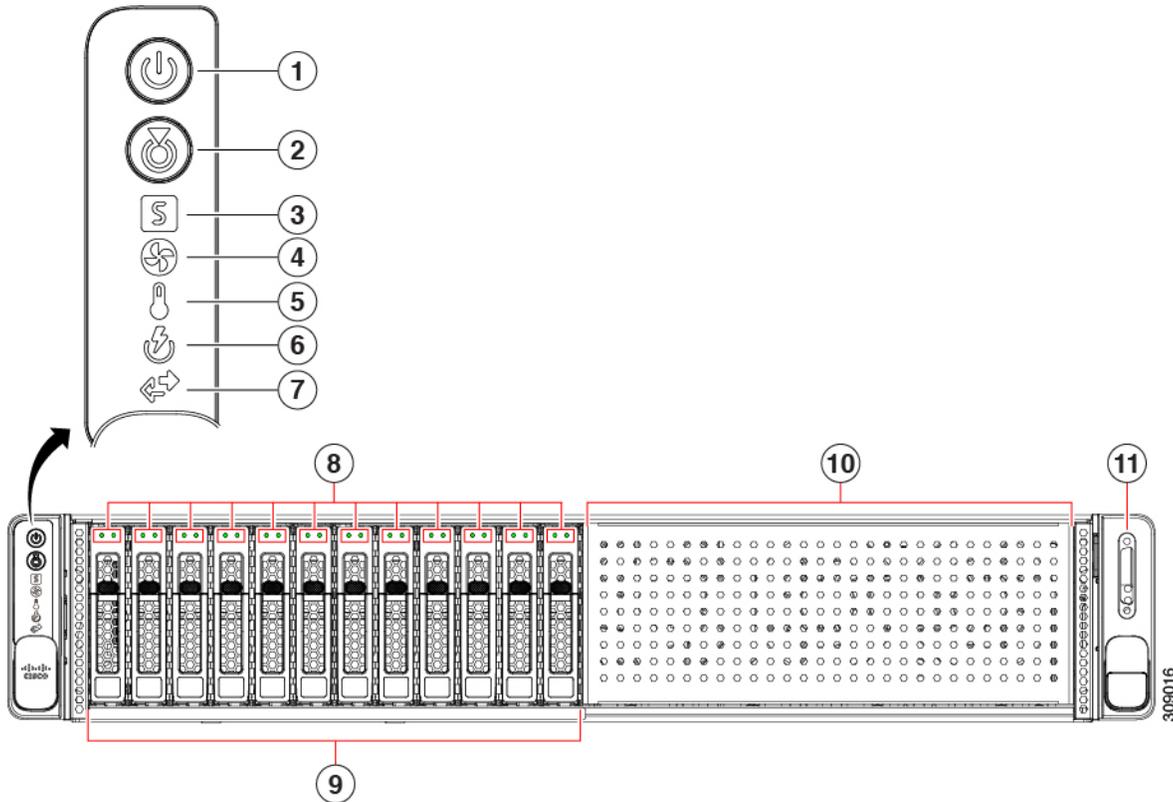
Cisco UCS C240 M6 サーバ 12 NVMe ドライブの前面パネルの機能

次の図に、小型フォーム ファクタ (SFF) ドライブ、12 NVMe ドライブ バージョンのサーバである Cisco UCS C240 M6N の前面パネルの機能を示します。フロントローディングドライブはすべて NVMe 専用です。任意の数の NVMe ドライブを搭載した UCS C240 M6 サーバは、デュアル CPU システムである必要があります。

この構成では、背面の PCIe スロットで最大 2 つのオプションの NVMe ドライブをサポートできます。

LED の状態の定義については、[前面パネルの LED](#)を参照してください。

図 4: Cisco UCS C240 M6 サーバ 12 NVMe の前面パネル



1	電源ボタン/電源ステータス LED	2	ユニット識別 LED
3	システム ステータス LED	4	ファン ステータス LED
5	温度ステータス LED	6	電源装置ステータス LED

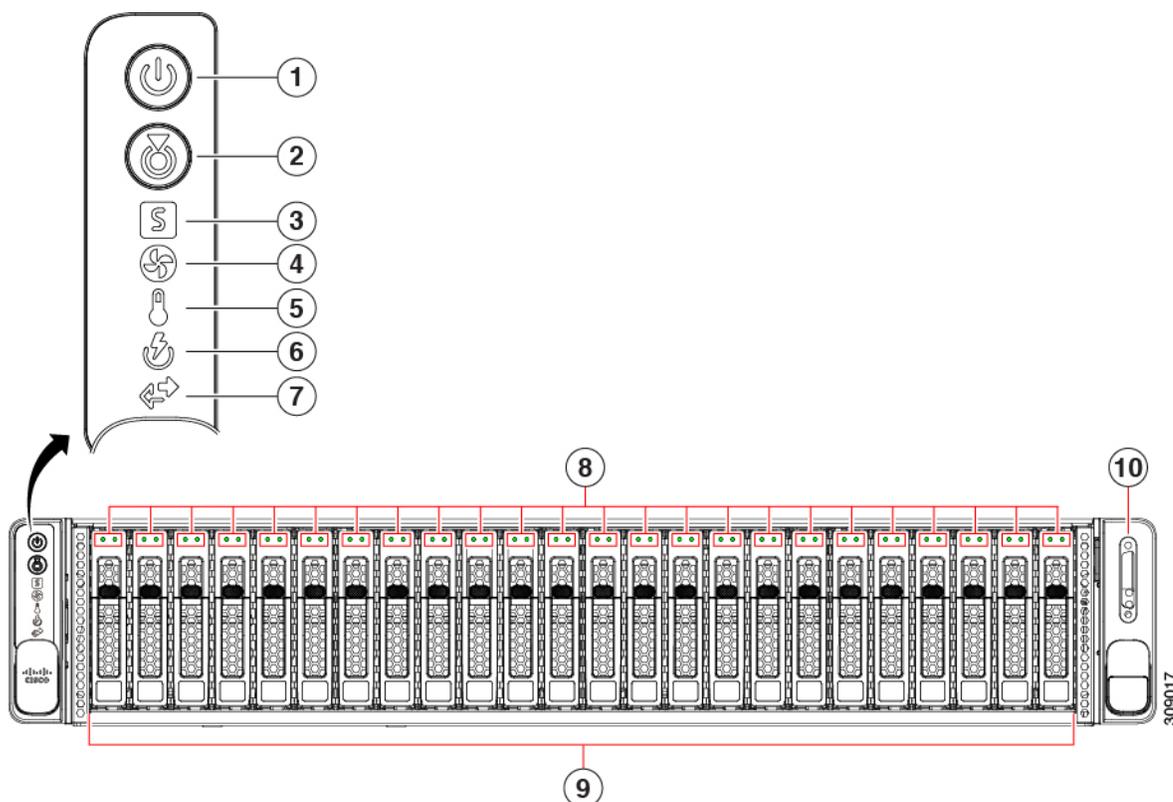
7	ネットワーク リンク アクティビティ LED	8	ドライブステータス LED
9	ドライブ ベイ 1~12 は、フロントローディング SFF NVMe ドライブのみをサポートします。 ドライブ ベイには 1~12 の番号が付けられ、ベイ 1 が左端のベイになります。	10	ドライブ ベイ 13~24 は板金でブロックされています。
11	KVM コネクタ (DB-15 VGA X 1、DB-9 シリアル X 1、USB 2.0 X 2 コネクタ接続用の KVM ケーブルで使用)	-	

Cisco UCS C240 M6 サーバ 24 NVMe ドライブの前面パネルの機能

次の図に、小型フォーム ファクタ (SFF) ドライブ、24 NVMe ドライブ バージョンのサーバである Cisco UCS C240 M6SN の前面パネルの機能を示します。フロントローディング ドライブはすべて NVMe です。SAS/SATA ドライブはサポートされていません。任意の数の NVMe ドライブを搭載した UCS C240 M6 サーバは、デュアル CPU システムである必要があります。

この構成では、背面の PCIe スロットで最大 2 つのオプションの NVMe ドライブをサポートできます。

図 5: Cisco UCS C240 M6 サーバ 24 NVMe の前面パネル



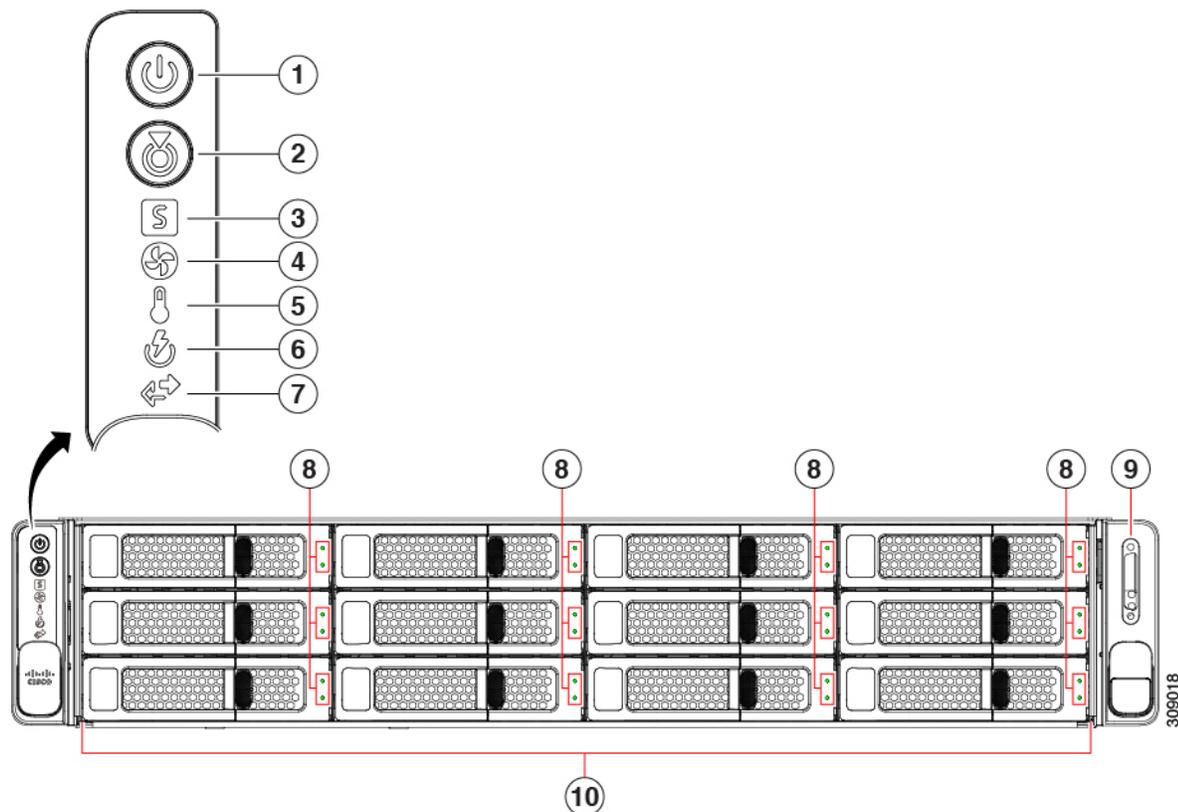
1	電源ボタン/電源ステータス LED	2	ユニット識別 LED
3	システム ステータス LED	4	ファン ステータス LED
5	温度ステータス LED	6	電源装置ステータス LED
7	ネットワーク リンク アクティビティ LED	8	ドライブステータス LED
9	ドライブ ステータス LED	10	ドライブ ベイ 1~24 は、フロントローディング SFF NVMe ドライブをサポートします。 ドライブ ベイには 1~24 の番号が付けられ、ベイ 1 が左端のベイになります。
11	KVM コネクタ (DB-15 VGA X 1、DB-9 シリアル X 1、USB 2.0 X 2 コネクタ接続用の KVM ケーブルで使用)	-	

Cisco UCS C240 M6 サーバ 12 LFF ドライブの前面パネルの機能

次の図に、大型フォームファクタ (LFF) 構成サーバの前面パネルの機能を示します。このバージョンのサーバは、12 台の 3.5 インチ LFF SAS 専用フロントローディング ハードディスク ドライブ (HDD) と、最大 4 台の 3.5 インチ LFF ミッドプレーン搭載 HDD をサポートします。オプションで、サーバは SAS、SATA、または NVMe として最大 4 台の SFF ドライブを背面 PCIe スロットでサポートできます。

LED の状態の定義については、[前面パネルの LED](#)を参照してください。

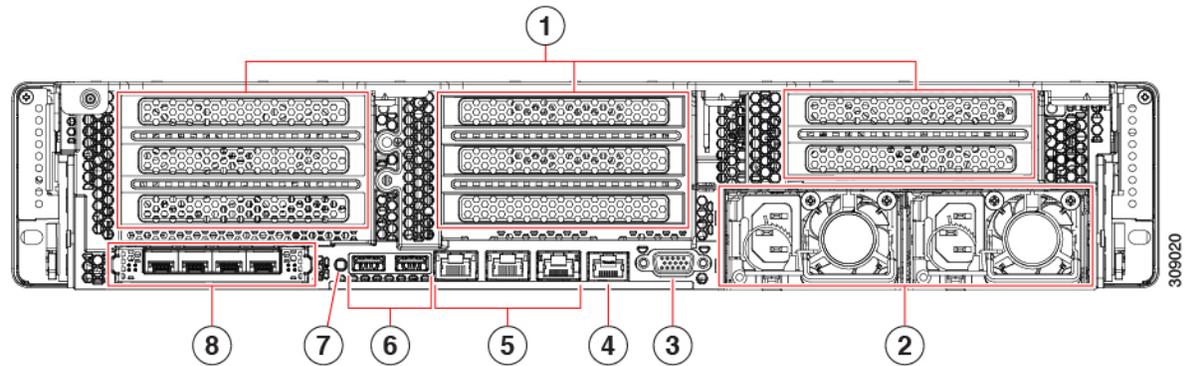
図 6: Cisco UCS C240 M6 サーバ 12 LFF ドライブの前面パネル



1	電源ボタン/電源ステータス LED	2	ユニット識別 LED
3	システム ステータス LED	4	ファン ステータス LED
5	温度ステータス LED	6	電源装置ステータス LED
7	ネットワーク リンク アクティビティ LED	8	ドライブステータス LED
9	KVM コネクタ (DB-15 VGA X 1、DB-9 シリアル X 1、USB 2.0 X 2 コネクタ接続用の KVM ケーブルで使用)	10	ドライブ ベイ 1~12 は、フロントローディング LFF SAS 専用ドライブをサポートします。 ドライブ ベイには 1~12 の番号が付けられ、ベイ 1 が左端のベイ、12 が右下のベイです。

共通背面パネルの機能

次の図は、サーバのすべてのモデルに共通の背面パネルハードウェア機能を示しています。



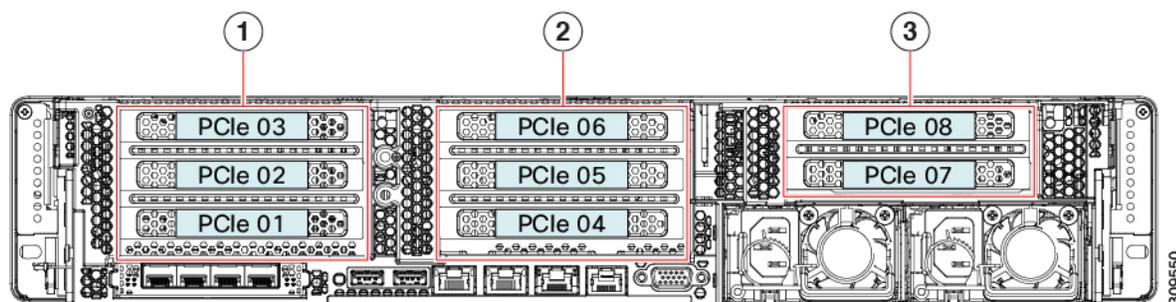
1	背面ハードウェアの構成オプション: <ul style="list-style-type: none"> • I/O 中心の場合、これらは PCIe スロットです。 • ストレージ中心の場合、これらはストレージドライブベイです。 この図は、未装着のスロットを示しています	2	電源装置 (2、1+1 として冗長) 仕様およびサポートされるオプションについては、 電力仕様 を参照してください。
3	VGA ビデオポート (DB-15 コネクタ)	4	シリアルポート (RJ-45 コネクタ)
5	1-Gb/10-Gb 自動ネゴシエーションイーサネットポート、2 (クラスタ内のポート 1 および 2)。 これらの LAN ポート (LAN1 および LAN2) は、1 Gbps および 10 Gbps をサポートし、リンクパートナーの機能に基づいて最適な速度に自動ネゴシエートします。 クラスタ内の 3 番目のポートは、専用の 1 Gb 管理ポートです。	6	USB 3.0 ポート X 2
7	背面ユニット識別ボタン/LED	8	モジュール型 LAN on Motherboard (mLOM) カードスロット (X 16)

Cisco UCS C240 M6 サーバ 24 ドライブの背面パネル、I/O 中心

Cisco UCS C240 M6 24 SAS/SATA SFF バージョンには、I/O (I/O 中心) またはストレージ (ストレージ中心) 用の背面構成オプションがあります。サーバに PCIe スロットを提供する I/O 中心バージョンと、サーバにドライブベイを提供するストレージ中心バージョンです。

次の図は、Cisco UCS C240 M6SX の I/O 中心バージョンの背面パネルの機能を示しています。

- サーバのすべてのバージョンに共通の機能については、「共通の背面パネル機能」を参照してください。
- LED の状態の定義については、[背面パネルの LED](#) を参照してください。



1	ライザー 1A	2	ライザー 2A
3	ライザー 3A または 3C	-	-

次の表に、このバージョンのサーバのライザー オプションを示します。

表 1: Cisco UCS C240 M6 24 SFF SAS/SATA/NVMe (UCSC-C240-M6SX)

ライザー	オプション
ライザー 1 このライザーは I/O 中心で、CPU 1 または CPU 2 によって制御されます。	ライザー 1A は、下から上に番号が付けられた 3 つの PCIe スロットをサポートします。 <ul style="list-style-type: none"> • スロット 1 = フルハイト、3/4 レングス、x8、NCSI • スロット 2 = フルハイト、フルレングス、x16、NCSI • スロット 3 = フルハイト、フルレングス、x8、NCSI なし
ライザー 2 このライザーは I/O 中心で、CPU 2 によって制御されます。	ライザー 2A は 3 つの PCIe スロットをサポートします。 <ul style="list-style-type: none"> • スロット 1 = フルハイト、3/4 レングス、x8、NCSI • スロット 2 = フルハイト、フルレングス、x16、NCSI • スロット 3 = フルハイト、フルレングス、x8、NCSI なし

ライザー	オプション
<p>ライザー 3</p> <p>このライザーは I/O 中心で、CPU 2 によって制御されます。</p>	<p>ライザー 3A は 2 つの PCIe スロットをサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> スロット 7 はフルハイト、フルレンジス、x8 スロット 8 はフルハイト、フルレンジス、x8 <p>ライザー 3C は GPU のみをサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 個のフルハイト、フルレンジス、ダブル幅 GPU (PCIe スロット 7 のみ)、x16 スロット 8 はダブル幅 GPU でブロックされています

Cisco UCS C240 M6 サーバ 12 SAS/SATA ドライブの背面パネル、I/O 中心

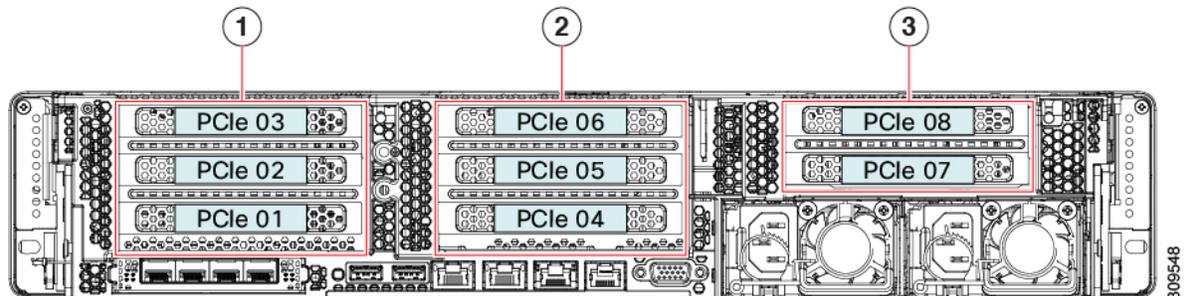
Cisco UCS C240 M6 12 SAS/SATA SFF バージョンには、I/O (I/O 中心) またはストレージ (ストレージ中心) 用の背面構成オプションがあります。サーバに PCIe スロットを提供する I/O 中心バージョンと、サーバにドライブ ベイを提供するストレージ中心バージョンです。



(注) このバージョンのサーバには、サーバの前面に DVD ドライブ用のオプションがあります。ここに示す背面パネルは、標準サーバと DVD ドライブバージョンのサーバの両方で同じです。

次の図は、Cisco UCS C240 M6S の I/O 中心バージョンの背面パネルの機能を示しています。

- サーバのすべてのバージョンに共通の機能については、「共通の背面パネル機能」を参照してください。
- LED の状態の定義については、[背面パネルの LED](#) を参照してください。



1	ライザー 1A	2	ライザー 2A
3	ライザー 3A または 3C	-	

次の表に、このバージョンのサーバのライザー オプションを示します。

表 2: Cisco UCS C240 M6 12 SFF SAS/SATA (USC-C240M6-S)

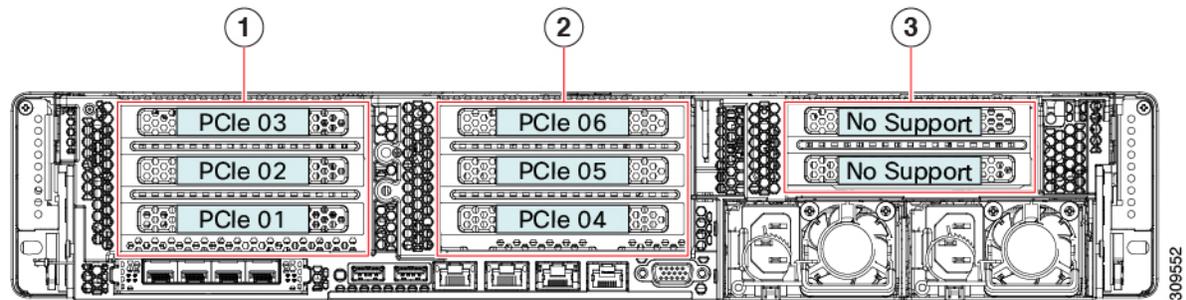
ライザー	オプション
<p>ライザー 1</p> <p>このライザーは I/O 中心で、CPU 1 によって制御されます。</p>	<p>ライザー 1A は、下から上に番号が付けられた 3 つの PCIe スロットをサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • スロット 1 = フルハイト、3/4 レングス、x8、NCSI • スロット 2 = フルハイト、フルレングス、x16、NCSI • スロット 3 = フルハイト、フルレングス、x8、NCSI なし
<p>ライザー 2</p> <p>このライザーは I/O 中心で、CPU 2 によって制御されます。</p>	<p>ライザー 2A は 3 つの PCIe スロットをサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • スロット 4 = フルハイト、3/4 レングス、x8、NCSI • スロット 5 = フルハイト、フルレングス、x16、NCSI • スロット 6 = フルハイト、フルレングス、x8、NCSI なし
<p>ライザー 3</p> <p>このライザーは I/O 中心で、CPU 2 によって制御されます。</p>	<p>ライザー 3A は 2 つの PCIe スロットをサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> • スロット 7 = フルハイト、フルレングス、x8、NCSI なし • スロット 8 = フルハイト、フルレングス、x8、NCSI なし <p>ライザー 3C は GPU のみをサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1 個のフルハイト、フルレングス、ダブル幅 GPU (PCIe スロット 7 のみ)、x16 • スロット 8 はダブル幅 GPU でブロックされています

Cisco UCS C240 M6 サーバ 24 NVMe ドライブの背面パネル、I/O 中心

Cisco UCS C240 M6 12 SAS/SATA SFF バージョンには、I/O (I/O 中心) またはストレージ (ストレージ中心) 用の背面構成オプションがあります。サーバに PCIe スロットを提供する I/O 中心バージョンと、サーバにドライブ ベイを提供するストレージ中心バージョンです。

次の図は、Cisco UCS C240 M6SN の I/O 中心バージョンの背面パネルの機能を示しています。

- サーバのすべてのバージョンに共通の機能については、「共通の背面パネル機能」を参照してください。
- LED の状態の定義については、[背面パネルの LED](#)を参照してください。



次の表に、このバージョンのサーバのライザー オプションを示します。

1	ライザー 1A	2	ライザー 2A
3	ライザー 3A、3B、または 3C (サポート対象外)	-	

表 3: Cisco UCS C240 M6 24 SFF NVMe (UCSC-C240M6-SN)

ライザー	オプション
ライザー 1 このライザーは I/O 中心で、CPU 1 または CPU 2 によって制御されます。	ライザー 1A は 3 つの PCIe スロットをサポートします。 <ul style="list-style-type: none"> • スロット 1 = フルハイト、3/4 レングス、x8、NCSI • スロット 2 = フルハイト、フルレングス、x16、NCSI • スロット 3 = フルハイト、フルレングス、x8、NCSI なし

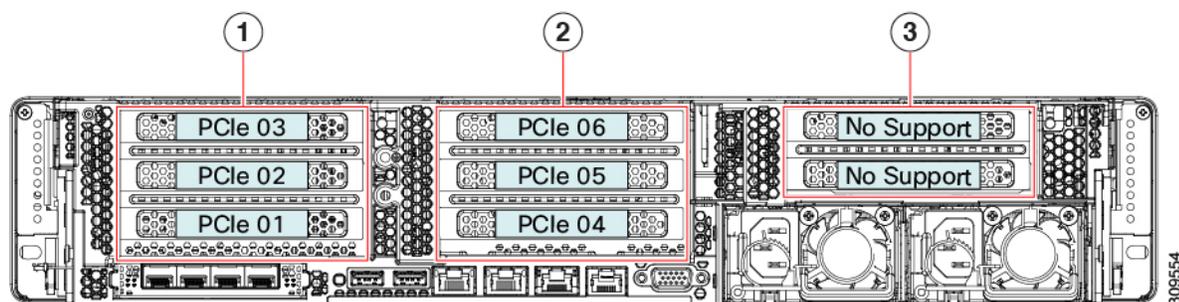
ライザー	オプション
ライザー 2A このライザーは I/O 中心で、CPU 2 によって制御されます。	ライザー 2A は 3 つの PCIe スロットをサポートします。 <ul style="list-style-type: none"> スロット 4 はフルハイト、3/4 レングス、x8 スロット 5 はフルハイト、フルレングス、x16 スロット 6 はフルハイト、フルレングス、x8
ライザー 3	ライザー 3A、3B、および 3C はサポートされていません。

Cisco UCS C240 M6 サーバ 12 NVMe ドライブの背面パネル、I/O 中心

Cisco UCS C240 M6 12 SAS/SATA SFF バージョンには、I/O (I/O 中心) またはストレージ (ストレージ中心) 用の背面構成オプションがあります。サーバに PCIe スロットを提供する I/O 中心バージョンと、サーバにドライブベイを提供するストレージ中心バージョンです。

次の図は、Cisco UCS C240 M6N の I/O 中心バージョンの背面パネルの機能を示しています。

- サーバのすべてのバージョンに共通の機能については、「共通の背面パネル機能」を参照してください。
- LED の状態の定義については、[背面パネルの LED](#)を参照してください。



次の表に、このバージョンのサーバのライザー オプションを示します。

1	ライザー 1A	2	ライザー 2A
3	ライザー 3A、3B、または 3C (サポート対象外)	-	

表 4: Cisco UCS C240 M6 24 SFF NVMe (UCSC-C240M6-SN)

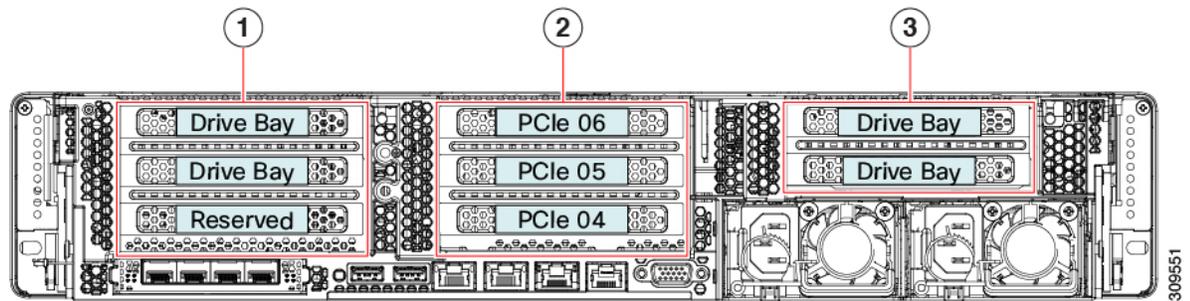
ライザー	オプション
ライザー 1 このライザーは I/O 中心で、CPU 1 または CPU 2 によって制御されます。	ライザー 1A は 3 つの PCIe スロットをサポートします。 <ul style="list-style-type: none"> • スロット 1 = フルハイト、3/4 レングス、x8、NCSI • スロット 2 = フルハイト、フルレングス、x16、NCSI • スロット 3 = フルハイト、フルレングス、x8、NCSI なし
ライザー 2A このライザーは I/O 中心で、CPU 2 によって制御されます。	ライザー 2A は 3 つの PCIe スロットをサポートします。 <ul style="list-style-type: none"> • スロット 4 = フルハイト、3/4 レングス、x8、NCSI • スロット 5 = フルハイト、フルレングス、x16、NCSI • スロット 6 はフルハイト、フルレングス、x8
ライザー 3	ライザー 3A、3B、および 3C はサポートされていません。

Cisco UCS C240 M6 サーバ 24 ドライブの背面パネル、ストレージ中心

Cisco UCS C240 M6 24 SAS/SATA SFF バージョンには、I/O (I/O 中心) またはストレージ (ストレージ中心) 用の背面構成オプションがあります。サーバに PCIe スロットを提供する I/O 中心バージョンと、サーバにドライブ ベイを提供するストレージ中心バージョンです。

次の図に、Cisco UCS C240 M6SX のストレージ中心バージョンの背面パネルの機能を示します。

- サーバのすべてのバージョンに共通の機能については、「共通の背面パネル機能」を参照してください。
- LED の状態の定義については、[背面パネルの LED](#)を参照してください。



次の表に、このバージョンのサーバのライザー オプションを示します。

1	ライザー 1B	2	ライザー 2A (サポート対象外)
3	ライザー 3B、3C	-	

表 5: Cisco UCS C240 M6 24 SFF SAS/SATA/NVMe (UCSC-C240-M6SX)

ライザー	オプション
ライザー 1 このライザーはストレージ中心で、CPU 2 によって制御されます。	ライザー 1B は 2 台の SFF SAS/SATA/NVMe ドライブをサポート <ul style="list-style-type: none"> • スロット 1 は予約済み • スロット 2 (ドライブ ベイ 102) 、x4 • スロット 3 (ドライブ ベイ 101) 、x4 サーバがハードウェア RAID コントローラカードを使用する場合は、背面ベイでは SAS/シリアル ATA HDD または SSD、あるいは NVMe PCIe SSD がサポートされます。
ライザー 2 このライザーは I/O 中心で、CPU 2 によって制御されます。	ライザー 2A は、ストレージ中心バージョンのサーバではサポートされていません。

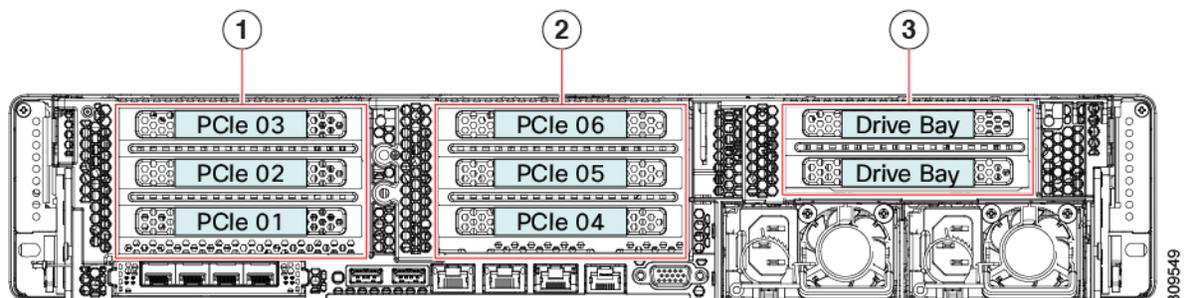
ライザー	オプション
<p>ライザー 3 このライザーはCPU2によって制御されます。</p>	<p>ライザー 3B には、2つの SFF ドライブ (NVMe) をサポートできる2つの PCIe スロットがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • スロット 7 (ドライブ ベイ 104) 、x4 • スロット 8 (ドライブ ベイ 103) 、x4 <p>サーバがハードウェア RAID コントローラカードを使用する場合は、背面ベイでは SAS/シリアル ATA HDD または SSD、あるいは NVMe PCIe SSD がサポートされます。</p> <p>ライザー 3C には、GPU をサポートできる 2つの PCIe スロットがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • スロット 7 は、1つのフルハイト、フルレングス、ダブル幅 GPU、x16 • ダブル幅 GPU が取り付けられている場合、スロット 8 はブロックされる

Cisco UCS C240 M6 サーバ 12 ドライブの背面パネル、ストレージ中心

Cisco UCS C240 M6 12 SAS/SATA SFF バージョンには、I/O (I/O 中心) またはストレージ (ストレージ中心) 用の背面構成オプションがあります。サーバに PCIe スロットを提供する I/O 中心バージョンと、サーバにドライブ ベイを提供するストレージ中心バージョンです。

次の図に、Cisco UCS C240 M6S のストレージ中心バージョンの背面パネルの機能を示します。

- サーバのすべてのバージョンに共通の機能については、「共通の背面パネル機能」を参照してください。
- LED の状態の定義については、[背面パネルの LED](#)を参照してください。



次の表に、このバージョンのサーバのライザー オプションを示します。

1	ライザー 1A	2	ライザー 2A
---	---------	---	---------

3	ライザー 3B、3C	-	
---	------------	---	--

表 6: Cisco UCS C240 M6 12 SFF SAS/SATA (CSC-C240M6-S)

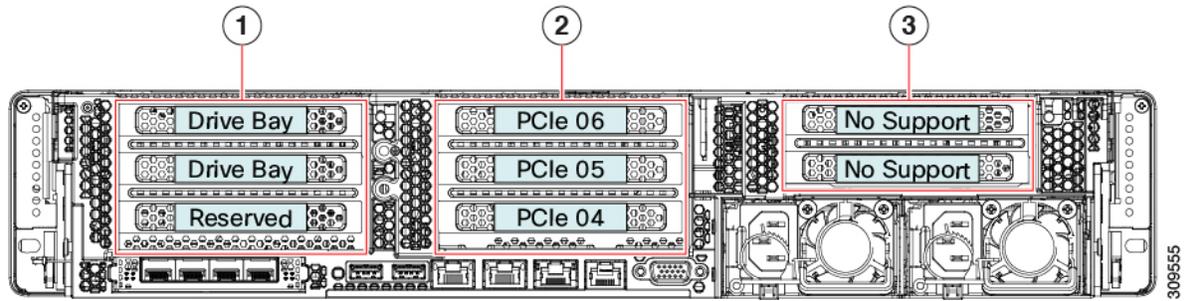
ライザー	オプション
ライザー 1	ライザー 1A は、サーバのストレージ中心バージョンではサポートされません。
ライザー 2	ライザー 2A は、サーバのストレージ中心バージョンではサポートされません。
ライザー 3 このライザーはストレージ中心で、CPU 2 によって制御されます。	<p>ライザー 3B は、2 つの SFF ドライブ (SAS/SATA/NVMe) をサポートできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • スロット 7 (ドライブ ベイ 104) 、x4 • スロット 8 (ドライブ ベイ 103) 、x4 <p>HWRAID コントローラカードを使用する場合は、背面ベイでは SAS/SATA ATA HDD または SSD、あるいは NVMe PCIe SSD がサポートされます。</p> <p>ライザー 3C には、GPU をサポートできる 2 つの PCIe スロットがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • スロット 7 は、1 つのフルハイト、フルレングス、ダブル幅 GPU、x16 • ダブル幅 GPU が取り付けられている場合、スロット 8 はブロックされる

Cisco UCS C240 M6 サーバ 24 NVMe ドライブの背面パネル、ストレージ中心

Cisco UCS C240 M6 24 NVMe SFF バージョンには、PCIe スロットとストレージ中心バージョンを使用するサーバの I/O 中心バージョンで、I/O (I/O 中心) またはストレージ (ストレージ中心) のいずれかの背面設定オプションがあります。ドライブ ベイを提供します。

次の図に、Cisco UCS C240 M6SN のストレージ中心バージョンの背面パネルの機能を示します。

- サーバのすべてのバージョンに共通の機能については、「共通の背面パネル機能」を参照してください。
- LED の状態の定義については、[背面パネルの LED](#)を参照してください。



次の表に、このバージョンのサーバのライザー オプションを示します。

1	ライザー 1B	2	ライザー 2A (サポート対象外)
3	ライザー 3A、3B、または 3C (サポート対象外)	-	

表 7: Cisco UCS C240 M6 24 SFF NVMe (UCSC-C240M6-SN)

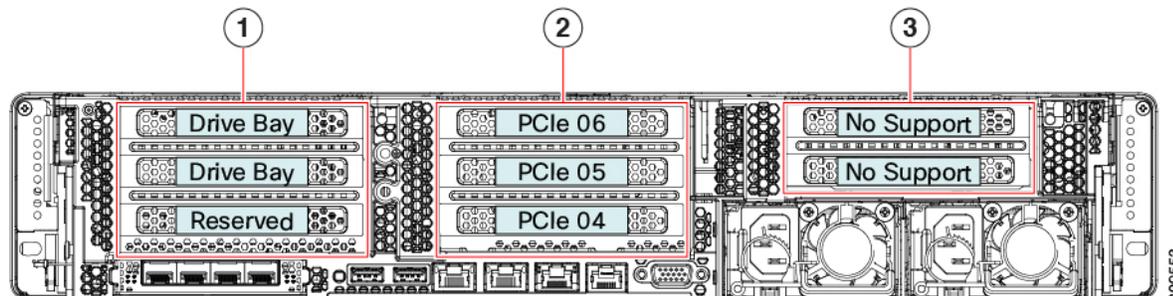
ライザー	オプション
ライザー 1B このライザーはストレージ中心で、CPU 2 によって制御されます。	ライザー 1B は 2 つの NVMe ドライブをサポートします。 <ul style="list-style-type: none"> • スロット 1 は予約済み • スロット 2 (ドライブ ベイ 102)、x4 • スロット 3 (ドライブ ベイ 101)、x4 サーバがハードウェア RAID コントローラカードを使用する場合は、背面ベイでは NVMePCIe SSD がサポートされます。
ライザー 2	ライザー 2A はストレージデバイスをサポートしていません。
ライザー 3	ライザー 3A、3B、および 3C はサポートされていません。

Cisco UCS C240 M6 サーバ 12 NVMe ドライブの背面パネル、ストレージ中心

Cisco UCS C240 M6 12 NVMe SFF バージョンには、PCIe スロットとストレージ中心バージョンを使用するサーバの I/O 中心バージョンで、I/O (I/O 中心) またはストレージ (ストレージ中心) のいずれかの背面設定オプションがあります。ドライブ ベイを提供します。

次の図に、Cisco UCS C240 M6N のストレージ中心バージョンの背面パネルの機能を示します。

- サーバのすべてのバージョンに共通の機能については、「共通の背面パネル機能」を参照してください。
- LED の状態の定義については、[背面パネルの LED](#)を参照してください。



次の表に、このバージョンのサーバのライザー オプションを示します。

1	ライザー 1B	2	ライザー 2A (サポート対象外)
3	ライザー 3A、3B、または 3C (サポート対象外)	-	

表 8: Cisco UCS C240 M6 12 SFF NVMe (UCSC-C240-M6N)

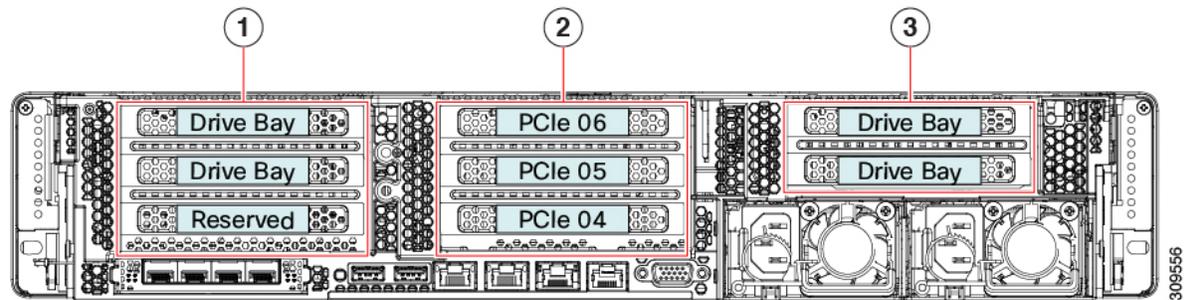
ライザー	オプション
ライザー 1B このライザーはストレージ中心で、CPU 2 によって制御されます。	ライザー 1B は 2 つの NVMe ドライブをサポートします。 <ul style="list-style-type: none"> • スロット 1 は予約済み • スロット 2 (ドライブ ベイ 102)、x4 • スロット 3 (ドライブ ベイ 101)、x4 サーバがハードウェア RAID コントローラカードを使用する場合は、背面ベイでは NVMe PCIe SSD がサポートされます。
ライザー 2	ライザー 2A はストレージデバイスをサポートしていません。
ライザー 3	ライザー 3A、3B、および 3C はサポートされていません。

Cisco UCS C240 M6 サーバ 12 LFF ドライブの背面パネル

サーバの SFF バージョンとは異なり、Cisco UCS C240 M6 LFF の背面パネルには 1 つのサポート対象ハードウェア構成があります。背面パネルのハードウェア構成には、PCIe スロットとドライブ ベイの両方があります。

次の図は、Cisco UCS C240 LFF の I/O Centric バージョンの背面パネルの機能を示しています。

- サーバのすべてのバージョンに共通の機能については、「共通の背面パネル機能」を参照してください。
- LED の状態の定義については、[背面パネルの LED](#)を参照してください。



次の表に、このバージョンのサーバのライザー オプションを示します。

1	ライザー 1B	2	ライザー 2A
3	ライザー 3B	-	

表 9: Cisco UCS C240 M6 12 LFF (UCSC-C240-LFF)

ライザー	オプション
<p>ライザー 1</p> <p>このライザーはCPU1によって制御されます。</p>	<p>ライザー 1B は、下から上に番号が付いた3つの PCIe スロットをサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • スロット 1 はドライブ コントローラ用に予約されています。 • スロット 2 は1台のドライブ (ドライブベイ 102)、x4 をサポート • スロット 3 は1台のドライブ (ドライブベイ 101)、x4 をサポート <p>ハードウェア RAID コントローラ カードまたは SAS を使用する場合</p> <p>サーバでハードウェア RAID コントローラ カードまたは SAS HBA を使用する場合は、背面ベイで SAS/SATA HDD または SSD がサポートされます。</p> <p>NVMe PCIe SSD は、RAID コントローラを必要とせずに背面ベイでサポートされます。</p>
<p>ライザー 2</p> <p>このライザーはCPU2によって制御されます。</p>	<p>ライザー 2A は3つの PCIe スロットをサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • スロット 4 はフルハイト、3/4 レングス、x8 • スロット 5 はフルハイト、フルレングス、x16 • スロット 6 はフルハイト、フルレングス、x8

ライザー	オプション
ライザー 3 このライザーはCPU2によって制御されます。	ライザー 3Bは2つのドライブをサポートします。 <ul style="list-style-type: none">• スロット 7 (ドライブ ベイ 104) 、x4• スロット 8 (ドライブ ベイ 103) 、x4 サーバでハードウェア RAID コントローラカードまたはSASHBAを使用する場合は、背面ベイで SAS/SATA HDD または SSD がサポートされます。 NVMe PCIe SSD は、RAID コントローラを必要とせずに背面ベイでサポートされます。

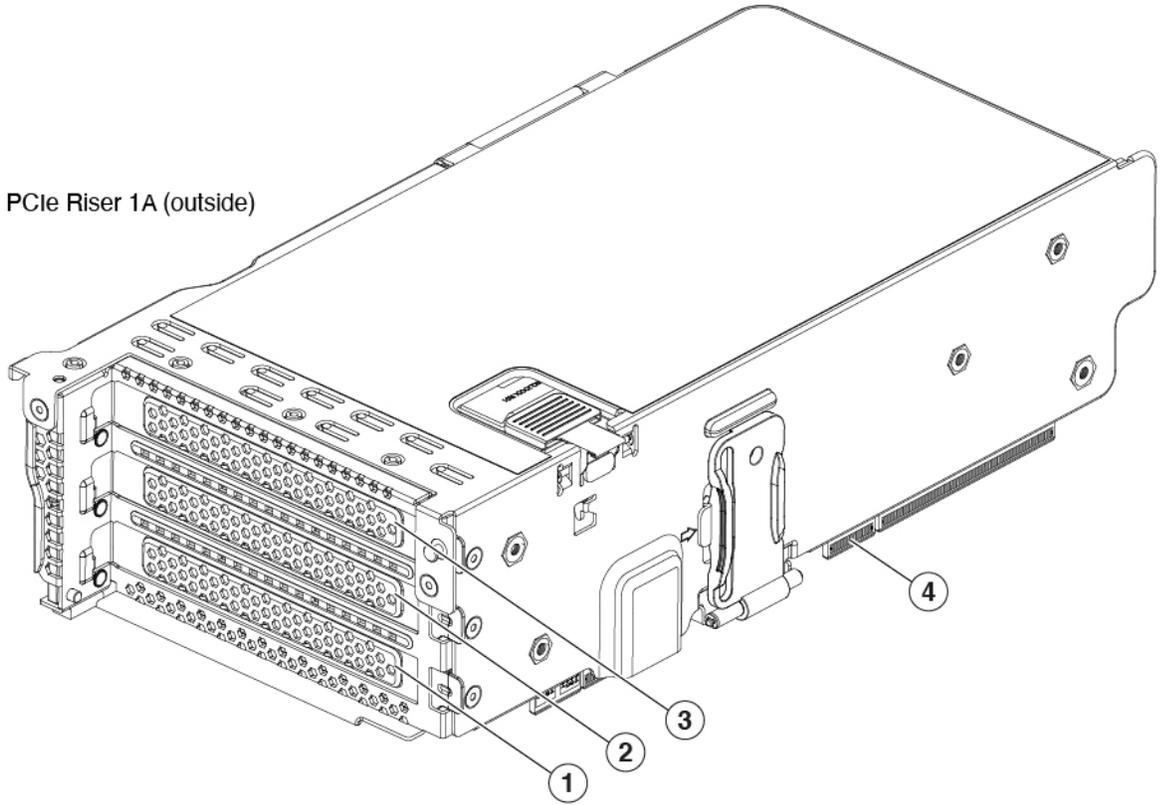
PCIe ライザー

次の異なる PCIe ライザーオプションを使用できます。

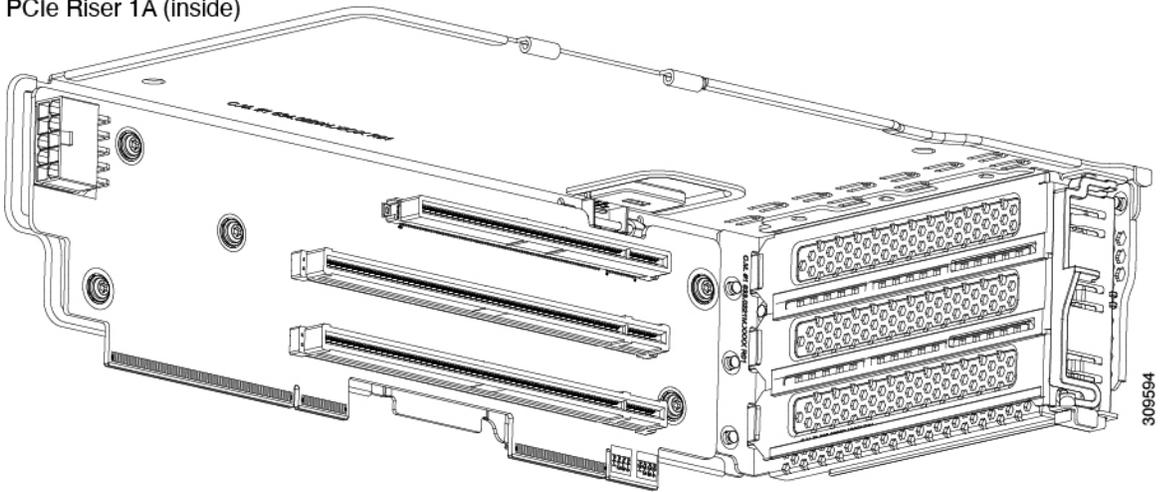
ライザー 1 のオプション

このライザーは、ライザー 1A と 1B の 2 つのオプションをサポートします。

PCIe Riser 1A (outside)

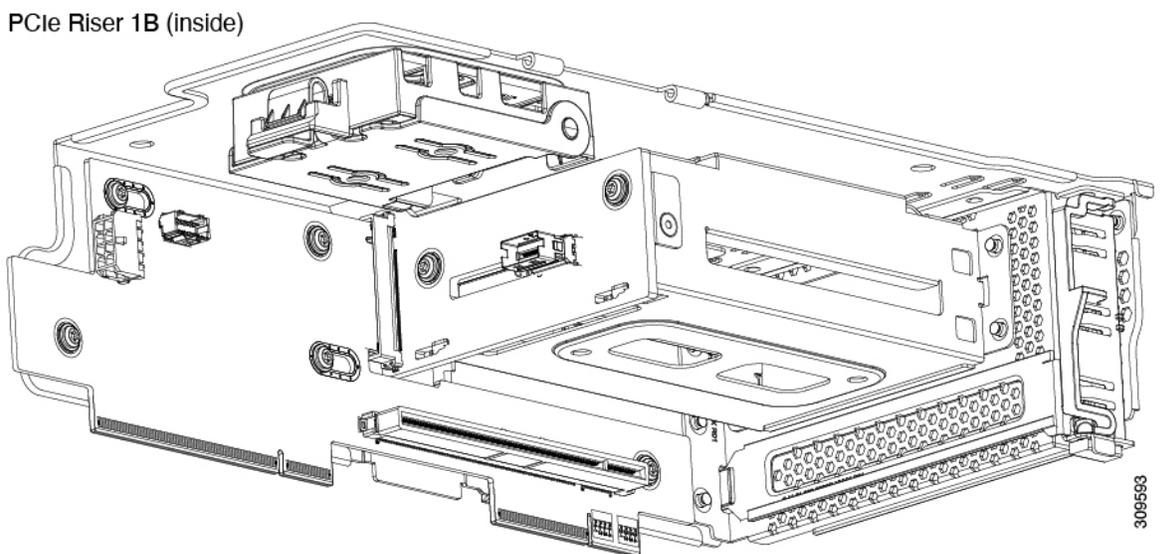
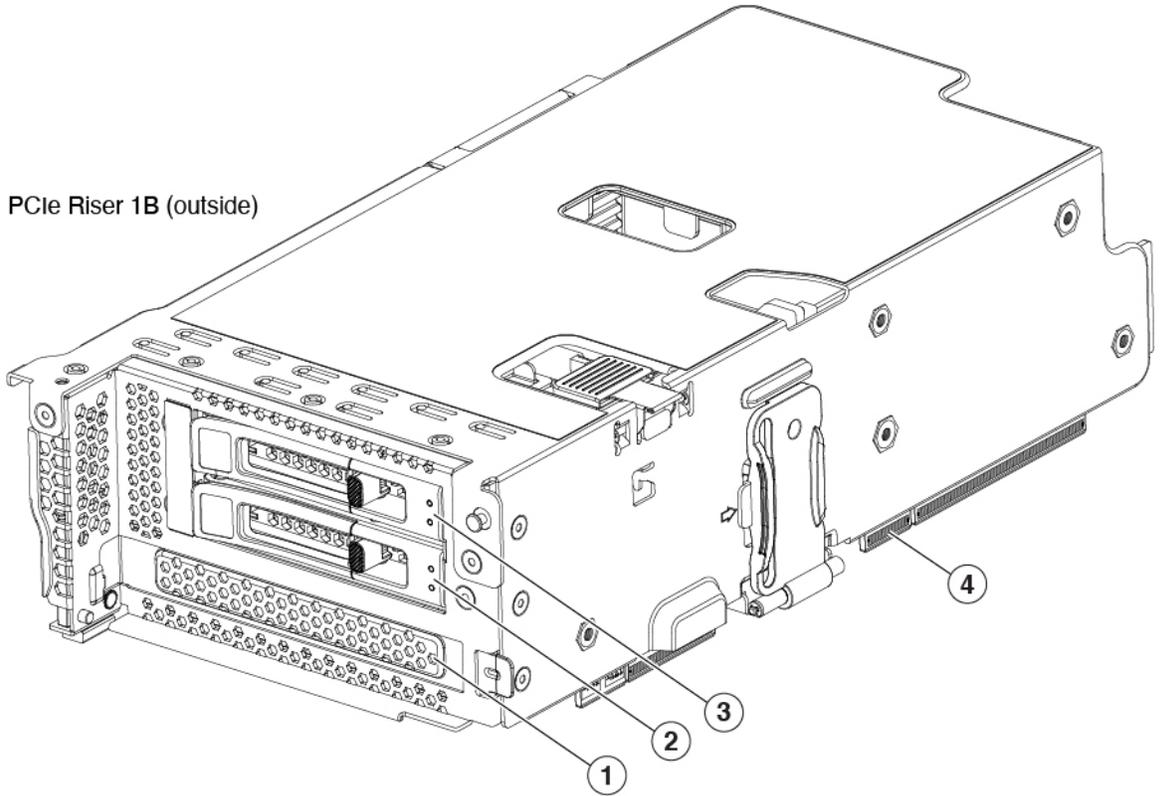


PCIe Riser 1A (inside)



<p>1</p>	<p>PCIe スロット 1、フルハイ ト、3/4 レングス、x8、NCSI</p>	<p>2</p>	<p>PCIe スロット 2、フルハイ ト、フルレングス、x16、 NCSI、GPU 対応</p>
-----------------	--	-----------------	---

3	PCIe スロット 3、フルハイ ト、フルレンジス、x8、NCSI 非対応	4	エッジコネクタ
---	---	---	---------



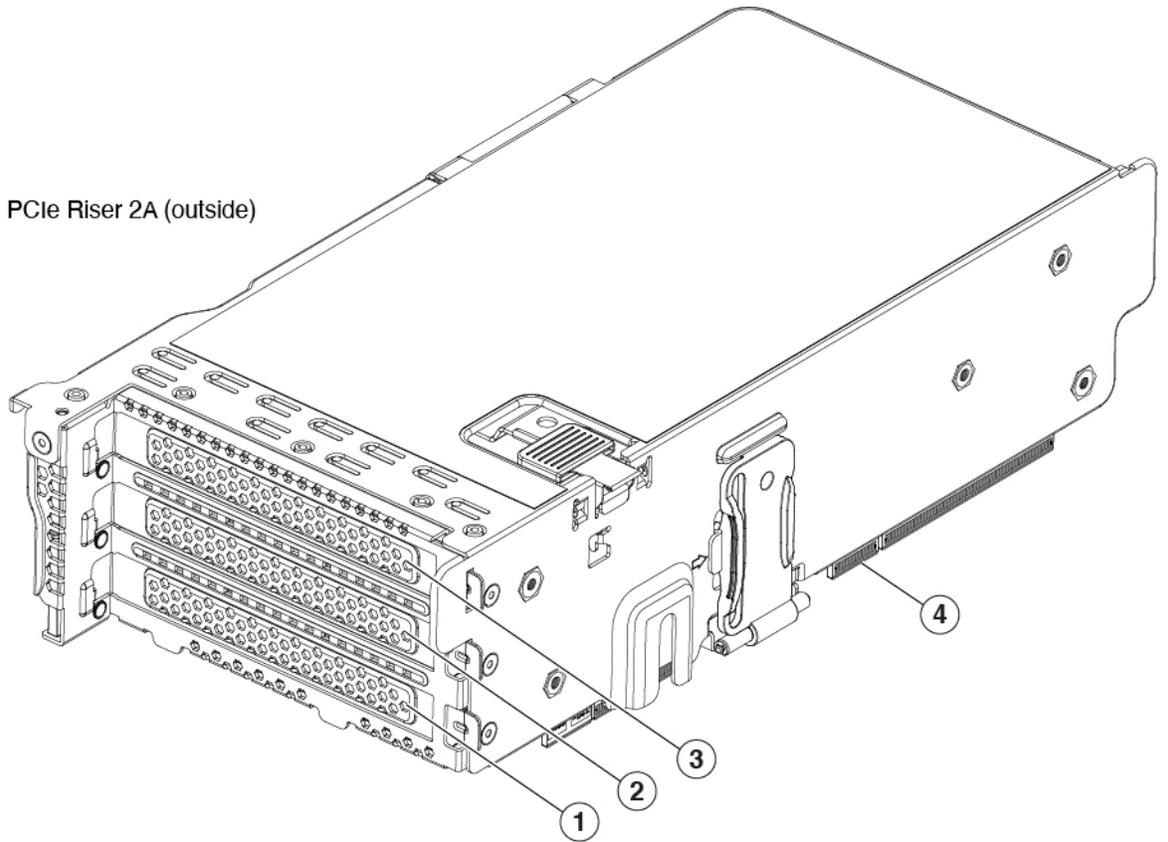
309593

1	PCIe スロット 1、ドライブ コントローラ用に予約済み	2	ドライブベイ 102、x4
3	ドライブ 103、x4	4	エッジ コネクタ

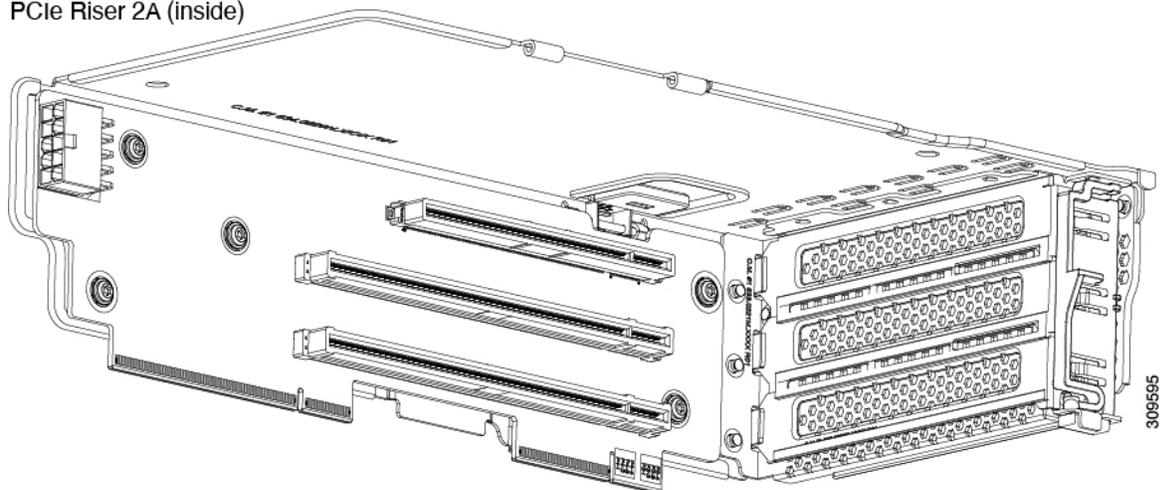
ライザ 2

このライザーは 1 つのオプション、ライザー 2A をサポートします。

PCIe Riser 2A (outside)



PCIe Riser 2A (inside)

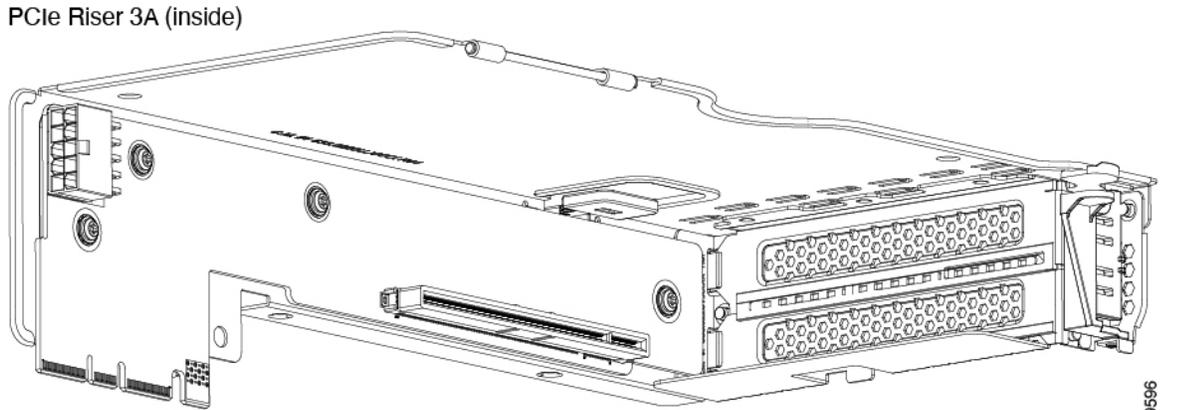
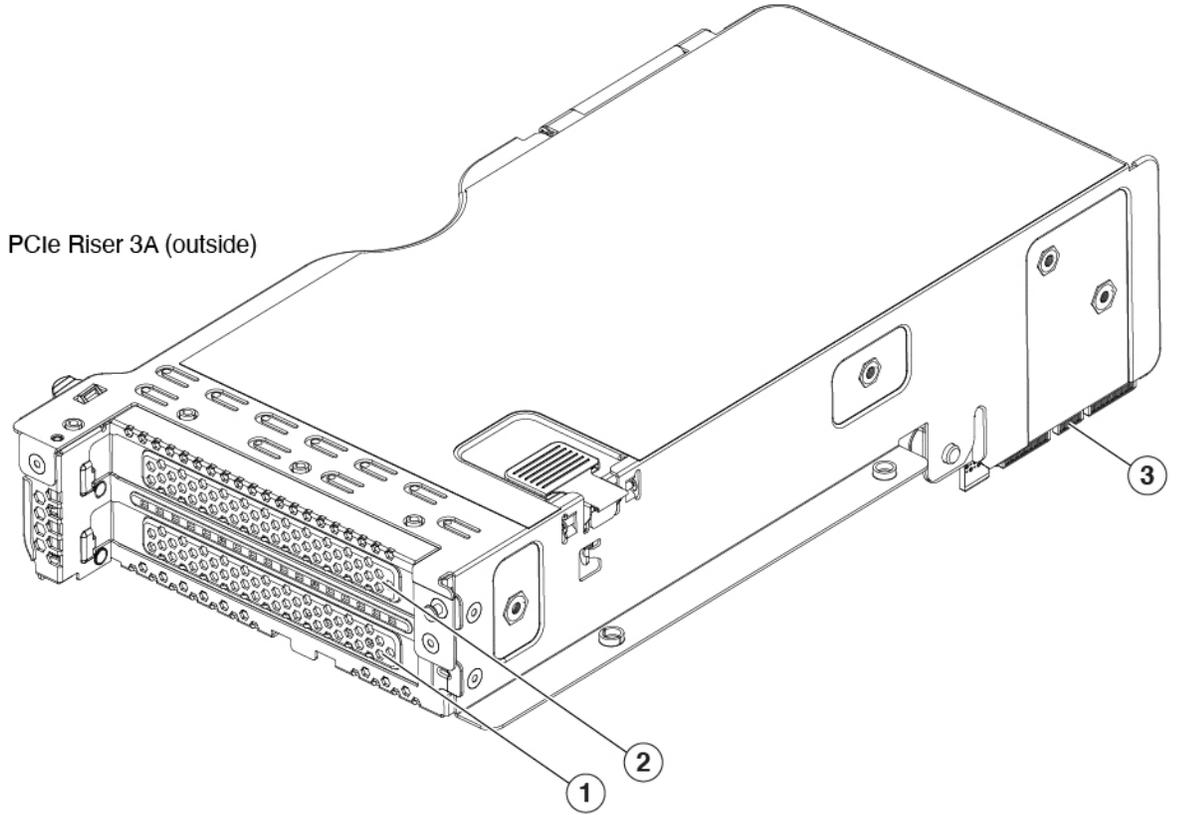


1	PCIe スロット 4、フルハイ ト、3/4 長、x8	2	PCIe スロット 5、フルハイ ト、フルレングス、x16
3	PCIe スロット 6、フルハイ ト、フルレングス、x16	4	エッジ コネクタ

309595

ライザ 3

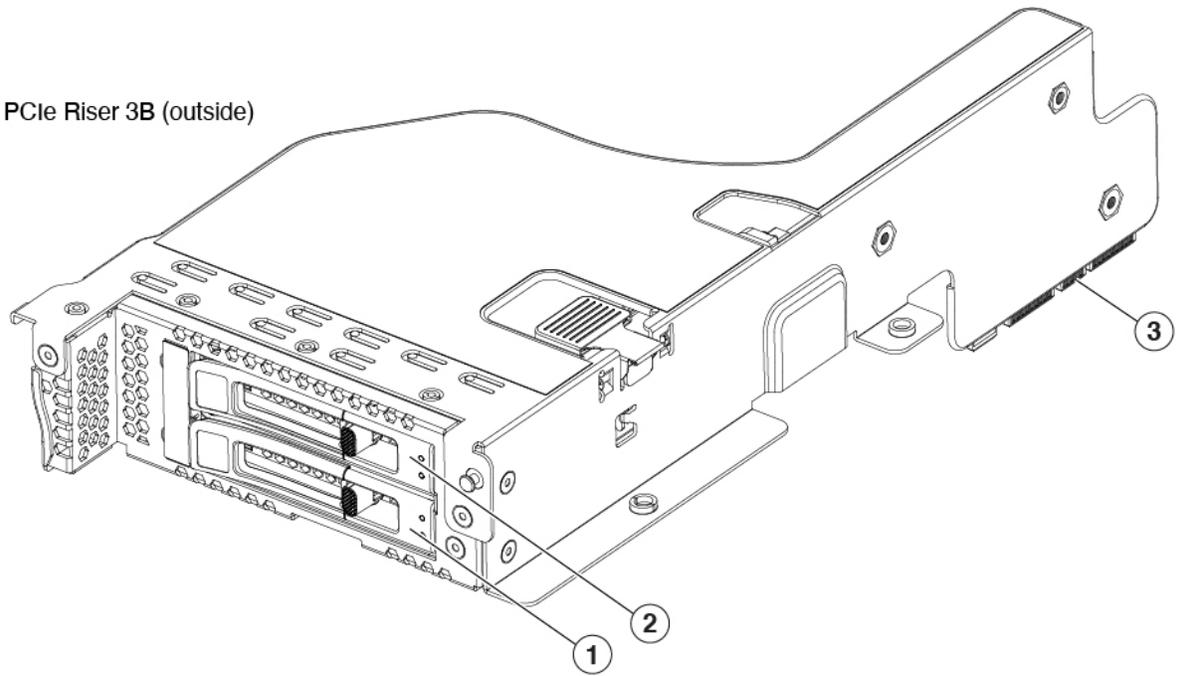
このライザーは、3A、3B、3C の 3 つのオプションをサポートします。



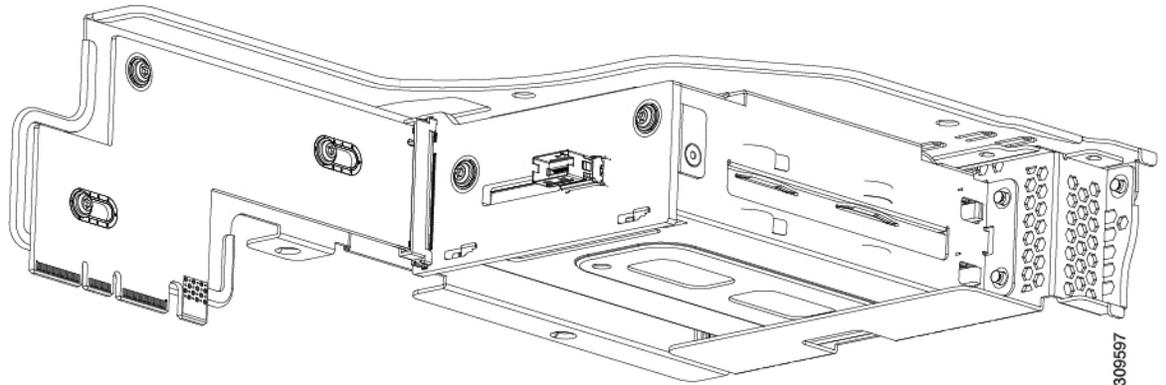
1	PCIe スロット 7、フルハイト、フルレングス、x8	2	PCIe スロット 8、フルハイト、フルレングス、x16
3	エッジコネクタ		

309596

PCIe Riser 3B (outside)

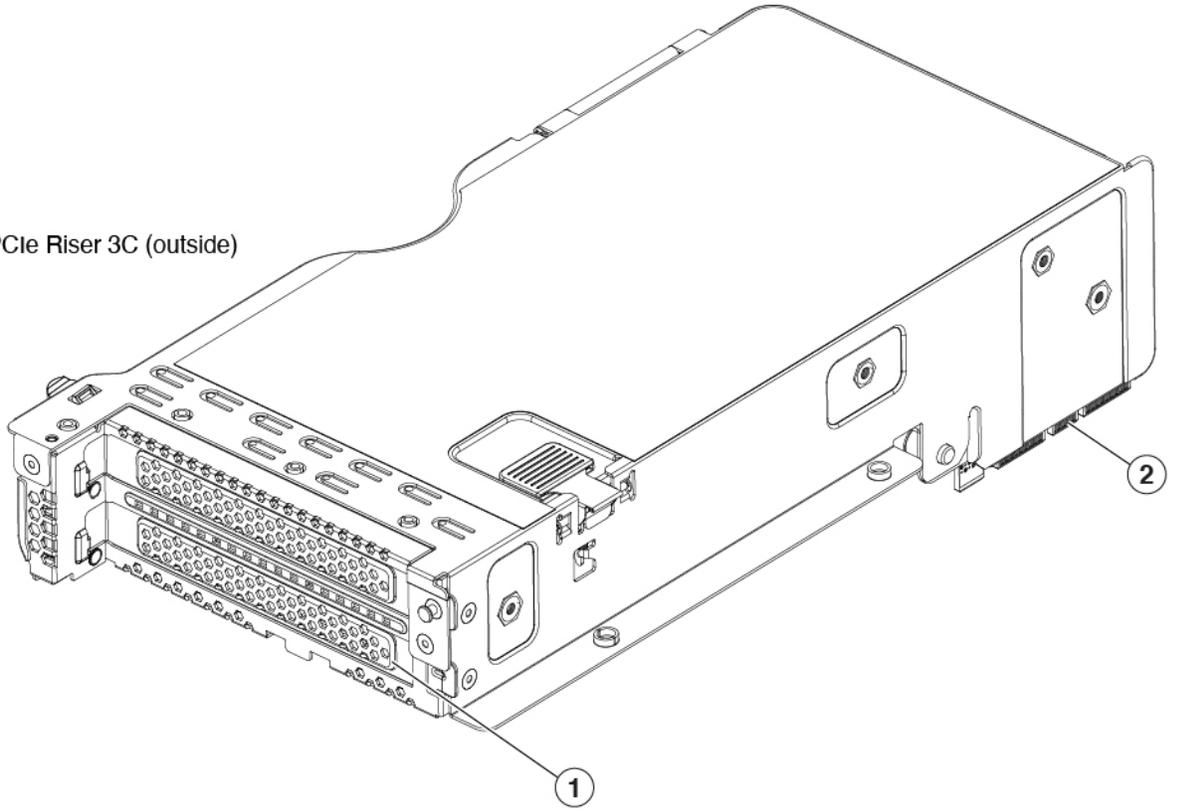


PCIe Riser 3B (inside)

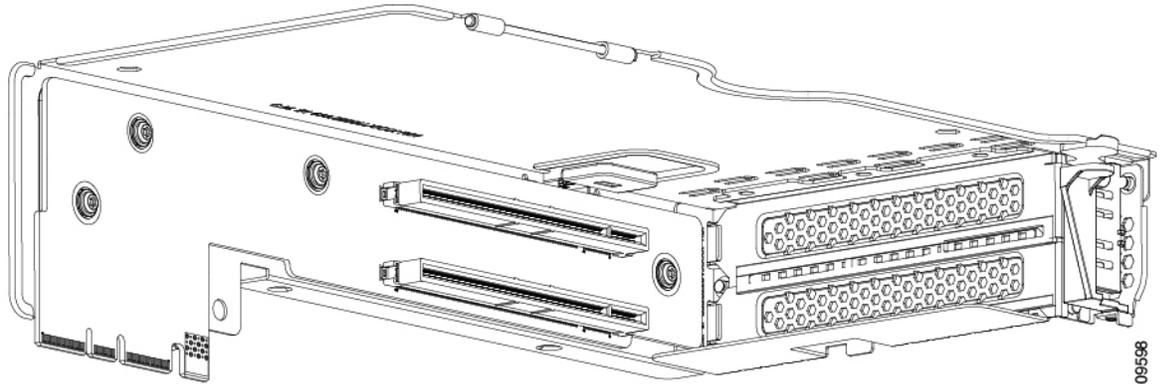


1	PCIe スロット7、ドライブベイ 103、x4	2	PCIe スロット8、ドライブベイ 103、x4
3	エッジコネクタ		

PCIe Riser 3C (outside)



PCIe Riser 3C (inside)



309568

<p>1</p>	<p>PCIe スロット 7、フルハイ ト、フルレングス、ダブル幅 GPU 1 基 x16 をサポート (ス ロット 7 のみ)</p>	<p>2</p>	<p>エッジ コネクタ</p>
-----------------	--	-----------------	-----------------

サーバ機能の概要

次の表に、サーバの LFF バージョンと SFF バージョンのサーバ機能の概要を示します。

表 10:サーバ機能、SFF

機能	説明
シャーシ	2 ラックユニット (2RU) シャーシ
セントラル プロセッサ	1 つまたは 2 つの第 3 世代 Intel Xeon プロセッサ。
チップセット	Intel® C621 シリーズ チップセット
メモリ	registered DIMM (RDIMM) または load-reduced DIMM (LRDIMM) 用の 32 個のスロットと、Intel® Optane™ パーシステントメモリ モジュール (DCPMM) のサポート
マルチビット エラー保護	マルチビット エラー保護をサポートします。
ビデオ	<p>Cisco Integrated Management Controller (CIMC) は、Matrox G200e ビデオ/グラフィックス コントローラを使用してビデオを提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ハードウェア アクセラレーションを備えた内蔵 2D グラフィックスコアです。 組み込み DDR4 メモリ インターフェイスは最大 512 MB のアドレス可能メモリをサポートします (デフォルトで 8 MB がビデオ メモリに割り当てられます) 最大 1920 X 1200 16bpp、60Hz のディスプレイ解像度をサポートします。 高速な内蔵 24 ビット RAMDAC 第 1 世代の速度で動作するシングルレーン PCI-Express ホストインターフェイス

機能	説明
ネットワークおよび管理 I/O	<p>背面パネル：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1 Gb イーサネット専用管理ポート X1 (RJ-45 コネクタ) • 1 Gb/10 Gb BASE-T イーサネット LAN ポート X 2 (RJ-45 コネクタ) デュアル LAN ポートは、リンク パートナーの機能に応じて 1 Gbps および 10 Gbps をサポートできます。 • RS-232 シリアル ポート (RJ-45 コネクタ) X 1 • VGA ビデオ コネクタ ポート X 1 (DB-15 コネクタ) • USB 3.0 ポート X 2 <p>前面パネル：</p> <ul style="list-style-type: none"> • KVM ブレイクアウト ケーブルが使用する前面パネルキーボード/ビデオ/マウス (KVM) コネクタ X 1。ブレイクアウト ケーブルは、USB 2.0 X 2、VGA X 1、DB-9 シリアル コネクタ X 1 を接続可能です。
電力	<p>以下のホットスワップ可能な電源ユニットから最大 2 つ選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1050 W (AC) • 1050 W (DC) • 1600 W (AC) • 2300 W (AC) <p>最低 1 台の電源ユニットが必須です。さらに 1 台を追加すれば、1+1 の冗長性を確保できます。</p> <p>詳細は、サポートされる電源装置を参照してください。</p>
ACPI	Advanced Configuration and Power Interface (ACPI) 4.0 規格をサポートしています。
前面パネル	前面パネルコントローラはステータスインジケータおよびコントロールボタンを装備しています。
冷却	前面から背面に向かって冷却する、ホットスワップ可能なファン モジュール X 6。
InfiniBand	このサーバの PCIe バス スロットで InfiniBand アーキテクチャをサポートします。

機能	説明
拡張スロット	<p>サーバの SFF バージョンでは、3 つのハーフハイトライザーロットがサポートされています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ライザー 1A (3 PCIe スロット) • ライザー 1B (ドライブ ベイ X2) • ライザー 2A (3 PCIe スロット) • ライザー 3A (2 PCIe スロット) • ライザー 3B (2 つのドライブ ベイ) • ライザー 3C (フルレンジス、ダブル幅 GPU 1 個) <p>(注) すべてのライザーがすべてのサーバ設定オプションで使用できるわけではありません。</p> <p>SATA インターポーザまたはストレージコントローラ用の 1 つまたは 2 つの専用スロット (サーバのタイプによって異なる)。</p>
インターフェイス	<p>背面パネル：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1 つの 1Gbase-T RJ-45 管理ポート • 2 つの 10Gbase-T LOM ポート • RS-232 シリアルポート (RJ45 コネクタ) x 1 • DB15 VGA コネクタ x 1 • USB 3.0 ポートコネクタ x 2 • 各種のインターフェイス カードを搭載できるフレキシブル モジュール型 LAN on Motherboard (mLOM) スロット x 1 <p>前面パネルは、以下を提供する 1 つの KVM コンソールコネクタをサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • USB 2.0 コネクタ X 2、 • VGA DB15 ビデオ コネクタ X 1 • シリアルポート (RS232) RJ45 コネクタ X1

機能	説明
内部ストレージデバイス	

機能	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • UCSC-C240-M6S: <ul style="list-style-type: none"> • 最大 12 台の SFF SAS/SATA ハードドライブ (HDD) または SAS/SATA ソリッドステートドライブ (SSD) が搭載可能。 • オプションで、最大 4 台の SFF NVMe PCIe SSD。これらのドライブは、前面ドライブベイ 1、2、3、および 4 にのみ配置する必要がありますが、SAS/SATA ドライブと混在させることができます。残りのベイ (5 ~ 12) には、SAS/SATA SSD または HDD を装着できます。任意の台数の NVMe ドライブを搭載したサーバには、2 つの CPU が必要です。 • オプションで 1 台の前面 DVD ドライブを装着可能。 • オプションで、最大 2 つの SFF 背面 SAS / SATA / NVMe ドライブ • SATA インターポーザを使用する場合は、最大 8 台の SATA 専用ドライブを取り付けることができます (スロット 1~8 のみ)。 • UCSC-C240-M6SX: <ul style="list-style-type: none"> • 最大 24 台の前面 SFF SAS/SATA ハードドライブ (HDD) または SAS/SATA ソリッドステートドライブ (SSD) を搭載できます。 20-10-2021 12:24 • オプションで、最大 4 台の前面 SFF NVMe PCIe SSD。これらのドライブは、前面ベイ 1、2、3、4 にのみ配置する必要があります。残りのベイ (5 ~ 24) には、SAS/SATA SSD または HDD を装着できます。任意の台数の NVMe ドライブを搭載したサーバには、2 つの CPU が必要です。 • オプションで、最大 4 台の SFF 背面 SAS / SATA / NVMe ドライブ • UCSC-C240-M6N: <ul style="list-style-type: none"> • 最大 12 台の前面 NVMe (専用) ドライブ • オプションで、最大 2 台の背面 NVMe (専用) ドライブ • 任意の台数の NVMe ドライブを搭載したサーバには、2 つの CPU が必要です。 • UCSC-C240-M6SN: <ul style="list-style-type: none"> • 最大 24 台の前面 NVMe ドライブ (のみ)。 • オプションで、最大 2 台の背面 NVMe ドライブ (のみ) • 2 台の CPU は NVMe SSD を選択する時に必要です。 • その他のストレージ:

機能	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • マザーボード上のミニストレージモジュールコネクタは、2つの SATA M.2 SSD を保持するブート最適化 RAID コントローラキャリアをサポートします。容量の異なる SATA M.2 SSD の同時使用はサポートされません。 • ブートボリュームとして使用するオプションの 2 M.2 RAID カード。
組み込み管理プロセッサ	<p>Cisco Integrated Management Controller (CIMC) ファームウェアを実行するベースボード管理コントローラ (BMC)。</p> <p>CIMC の設定に応じて、1GE 管理専用ポート、1GE/10GE LOM ポート、または Cisco 仮想インターフェイスカード (VIC) を介して CIMC にアクセスできます。</p> <p>CIMC はサーバ内の特定のコンポーネント (Cisco 12G SAS HBA など) を管理します。</p>
ストレージコントローラ	<p>1つの SATA インタポーザボード、12G RAID HBA、または1つまたは2つの 12G SAS HBA を専用スロットに差し込みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SATA インタポーザボード: <ul style="list-style-type: none"> • 最大 8 台の SATA 専用ドライブ (スロット 1~8) の AHCI サポート • UCSC-C240M6-S サーバでのみサポート • 4 GB FBWC 搭載 Cisco 12G RAID コントローラ (UCSC-240-M6S サーバ用) <ul style="list-style-type: none"> • RAID サポート (RAID 0、1、5、6、10、50、および 60) と SW RAID0 • 最大 14 台の SAS/SATA 内蔵ドライブをサポートします。 • 4 GB FBWC 搭載 Cisco M6 12G SAS RAID コントローラ (UCSC-240-M6SX サーバ用) <ul style="list-style-type: none"> • RAID サポート (RAID 0、1、5、6、10、50、および 60) と SRAID0 • 最大 28 台の SAS/SATA 内蔵ドライブをサポートします。 • Cisco M6 12G SAS HBA (UCSC-240-M6S および UCSC-240-M6SX サーバ用) <ul style="list-style-type: none"> • RAID は 0、1、および 10 をサポートします。 • JBOD /パススルーモードのサポート • 各 HBA 最大 14 台の内蔵 SAS/SATA ドライブをサポートします
モジュール型 LAN on Motherboard (mLOM) スロット	<p>マザーボードの mLOM 専用スロットには、Cisco 仮想インターフェイスカード (VIC) を柔軟に装着できます。</p>

機能	説明
サーバ管理	Cisco Intersight がサーバ管理を行います。
CIMC	サーバには、Cisco Integrated Management Controller (CIMC) 4.2 (1) 以降が必要です。

表 11:サーバ機能、LFF

機能	説明
シャーシ	2 ラックユニット (2RU) シャーシ
セントラル プロセッサ	1 つまたは 2 つの第 3 世代 Intel Xeon プロセッサ。
チップセット	Intel® C621 シリーズ チップセット
メモリ	registered DIMM (RDIMM) または load-reduced DIMM (LRDIMM) 用の 32 個のスロットと、Intel® Optane™ パーシステントメモリ モジュール (DCPMM) のサポート
マルチビット エラー保護	マルチビット エラー保護をサポートします。
ビデオ	<p>Cisco Integrated Management Controller (CIMC) は、Matrox G200e ビデオ/グラフィックス コントローラを使用してビデオを提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ハードウェア アクセラレーションを備えた内蔵 2D グラフィックスコアです。 DDR2/3 メモリインターフェイスは最大 512 MB のアドレス可能メモリをサポートします (デフォルトで 8MB がビデオメモリに割り当てられます)。 最大 1920 X 1200 16bpp、60Hz のディスプレイ解像度をサポートします。 高速な内蔵 24 ビット RAMDAC 第 1 世代の速度で動作するシングル レーン PCI-Express ホストインターフェイス

機能	説明
ネットワークおよび管理 I/O	<p>背面パネル：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1 つの 1Gbase-T RJ-45 管理ポート • 2 つの 10Gbase-T LOM ポート • RS-232 シリアル ポート (RJ-45 コネクタ) X 1 • DB15 VGA コネクタ×1 • USB 3.0 ポート X 2 • 各種のインターフェイス カードを搭載できるフレキシブル モジュール型 LAN on Motherboard (mLOM) スロット X 1 <p>前面パネルは、以下を提供する 1 つの KVM コンソールコネクタをサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • USB 2.0 コネクタ X 2、 • VGA DB15 ビデオ コネクタ X 1 • シリアル ポート (RS232) RJ45 コネクタ X 1
電力	<p>以下のホットスワップ可能な電源ユニットから最大 2 つ選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1050 W (AC) • 1050 W (DC) • 1600 W (AC) • 2300 W (AC) <p>最低 1 台の電源ユニットが必須です。さらに 1 台を追加して 1+1 の冗長性を確保できます。2 つの電源装置を使用する場合は、同じタイプで同じワット数である必要があります。</p>
ACPI	Advanced Configuration and Power Interface (ACPI) 4.0 規格をサポートしています。
前面パネル	前面パネルコントローラはステータスインジケータおよびコントロールボタンを装備しています。
冷却	前面から背面に向かって冷却する、ホットスワップ可能なファン モジュール X 6。
InfiniBand	このサーバの PCIe バス スロットで InfiniBand アーキテクチャをサポートします。

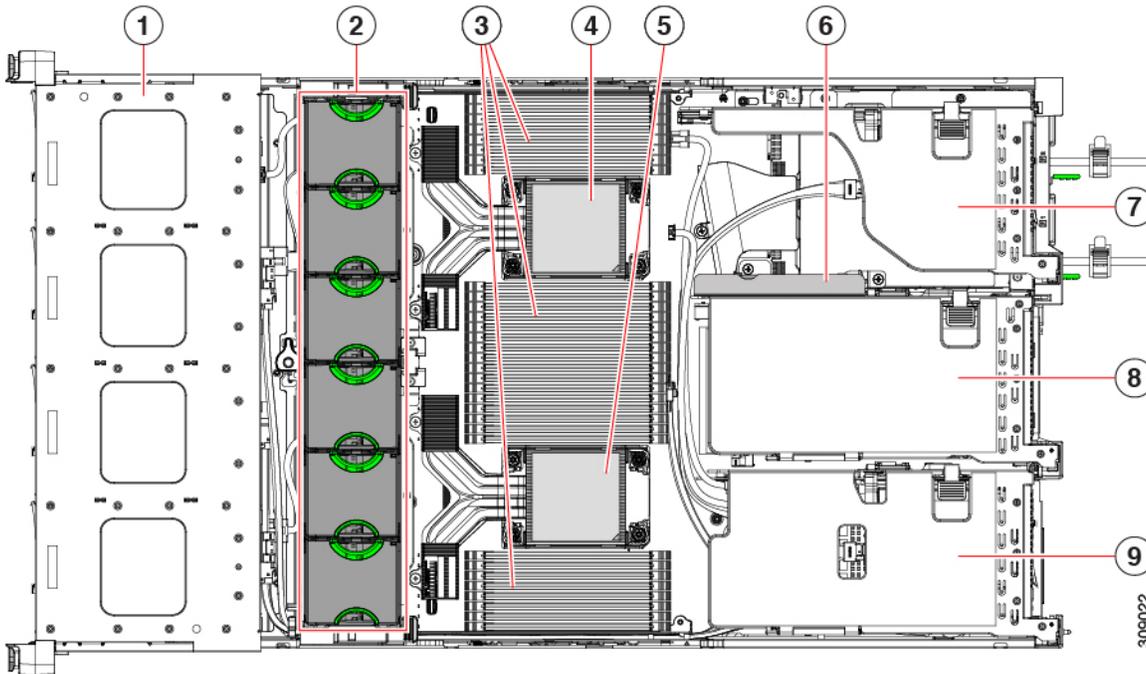
機能	説明
拡張スロット	<ul style="list-style-type: none"> • ライザー 1B (ドライブ コントローラ用に 1 個の PCIe スロットと 2 個の HDD スロット) • ライザー 2A (3 PCIe スロット) • ライザー 3B (2 HDD スロット)
インターフェイス	<p>背面パネル：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1 つの 1Gbase-T RJ-45 管理ポート • 2 つの 10Gbase-T LOM ポート • RS-232 シリアルポート (RJ45 コネクタ) x 1 • DB15 VGA コネクタ x 1 • USB 3.0 ポートコネクタ x 2 • 各種のインターフェイス カードを搭載できるフレキシブル モジュール型 LAN on Motherboard (mLOM) スロット x 1 <p>前面パネル：KVM コンソール コネクタ X 1 (USB 2.0 コネクタ X 2、VGA DB15 ビデオコネクタ X 1、シリアルポート (RS232) RJ45 コネクタ X 1 を接続可能) をサポート。</p>
内部ストレージデバイス	<ul style="list-style-type: none"> • 12 のドライブ バックプレーンを備えた大型フォームファクタ (LFF) ドライブ。サーバは最大の場合、次のように装備できます。 <ul style="list-style-type: none"> • 12 台の LFF 3.5 インチフロントローディング SAS 専用ハードドライブ (HDD、4 台のミッドプレーン LFF ドライブ、 • オプションで、最大 4 台の 3.5 インチミッドプレーン SAS 専用 LFF HDD • オプションで最大 2 台の背面 SAS/SATA HDD/SSD、または最大 2 台の背面 NVMe PCIe SSD ドライブを装着可能。 • マザーボード上のミニストレージモジュールコネクタは、2 つの SATA M.2 SSD を保持するブート最適化 RAID コントローラキャリアをサポートします。容量の異なる SATA M.2 SSD の同時使用はサポートされません。

機能	説明
ストレージコントローラ	<p>12G RAID HBA または 12G SAS HBA は、ライザー 1B のスロット 1（下部スロット）に差し込みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 4GB FBWC を搭載した Cisco M6 12G SAS RAID コントローラ <ul style="list-style-type: none"> • RAID サポート（RAID 0、1、5、6、10、50、および 60）と SRAID • 最大 32 台の SAS/SATA 内蔵ドライブをサポートします。 • ライザー 1B のドライブスロット 1 に接続 • Cisco M6 12G SAS HBA <ul style="list-style-type: none"> • RAID 0、1、10 のサポート • JBOD/パススルー モードのサポート • 最大 32 台の SAS/SATA 内蔵ドライブをサポートします。 • ライザー 1B のスロット 1 に接続
組み込み管理プロセッサ	<p>Cisco Integrated Management Controller（CIMC）ファームウェアを実行するベースボード管理コントローラ（BMC）。</p> <p>CIMC の設定に応じて、1GE 管理専用ポート、1GE/10GE LOM ポート、または Cisco 仮想インターフェイスカード（VIC）を介して CIMC にアクセスできます。</p> <p>CIMC はサーバ内の特定のコンポーネント（Cisco 12G SAS HBA など）を管理します。</p>
モジュール型 LAN on Motherboard（mLOM）スロット	マザーボードの mLOM 専用スロットには、Cisco 仮想インターフェイスカード（VIC）を柔軟に装着できます。
サーバ管理	Cisco Intersight がサーバ管理を行います。
CIMC	このサーバには、Cisco Integrated Management Controller 4.2（1）以降が必要です。

サービス可能なコンポーネントの場所

ここでは、フィールドで交換可能なコンポーネントとサービス関連の品目の場所を示します。次の図に、上部カバーを取り外した状態のサーバを示します。

図 7: Cisco UCS C240 M6 サーバ、サービス可能なコンポーネントの場所



1	フロントローディングドライブベイ。	2	冷却ファンモジュール (6、ホットスワップ可能)
3	<p>マザーボード上の DIMM ソケット (CPU あたり 16 個)</p> <p>DIMM スロットの番号付けについては、DIMM 装着規則とメモリパフォーマンスに関するガイドラインを参照してください。</p> <p>(注) サーバの動作中は、エアバップルが DIMM と CPU の上にあります。エアバップルは、この図には表示されていません。</p>	4	CPU ソケット 1
5	CPU ソケット 2	6	M.2 RAID コントローラ

7	<p>PCIe ライザー 3 (PCIe スロット 7 および 8。番号は下から上へ)。次のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 3A (デフォルトオプション) : スロット 7 (x16 機械式、x8 電気式)、および 8 (x16 機械式、x8 電気式)。両方のスロットはフルハイト、フルレンジス GPU カードを使用できます。 • 3B (ストレージオプション)—スロット 7 (x24 機械的、x4 電氣的)、および 8 (x24 機械的、x4 電氣的)。両方のスロットで 2.5 インチ SFF ユニバーサル HDD を装着できます。 • 3C (GPU オプション) : スロット 7 (機械式 x 16、電気式 x 16) および空 8 (一度に 1 つのスロットに制限)。スロット 7 は、フルハイトでフルレンジスの GPU カードをサポートできます。 	8	<p>PCIe ライザー 2 (PCIe スロット 4、5、6。番号は下から上へ)。次のオプション付き:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2A (デフォルトオプション) : スロット 4 (機械式 x24、電気式 x8) は、フルハイトの 3/4 カードをサポートします。スロット 5 (機械式 x24、電気式 x 16) は、フルハイトのフルレンジス GPU カードをサポートします。スロット 6 (機械式 x16、電気式 x8) は、フルハイトのフルレンジス カードをサポートします。
9	<p>PCIe ライザー 1 (PCIe スロット 1、2、3。番号は下から上へ)。次のオプション付き:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1A (デフォルトオプション) : スロット 1 (機械式 x24、電気式 x8) は、フルハイトの 3/4 カードをサポートします。スロット 2 (機械式 x 24、電気式 x 16) は、フルハイトのフルレンジス GPU カードをサポートします。スロット 3 (機械式 x16、電気式 x8) は、フルハイトのフルレンジス カードをサポート。 • 1B (ストレージオプション) : スロット 1 (機械式 x24、電気式 x8) は、フルハイトの 3/4 カードをサポートします。スロット 2 (電気式 x4)、2.5 インチ SFF ユニバーサル HDD をサポート。スロット 3 (電気式 x 4)、2.5 インチ SFF ユニバーサル HDD をサポート。 <p>(注) シャーシは、この PCIe スロットで内部 USB ドライブ (表示されていません) をサポートします。 USB ドライブの交換を参照してください。</p>	-	

サポートされるコンポーネントの部品番号などの、このサーバのすべてのバージョンの技術仕様シートは、『[Cisco UCS Servers Technical Specifications Sheets](#)』に記載されています（「*Technical Specifications*」まで下へスクロールしてください）。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。